４　参考資料

資料Ⅰ　点字導入教材　「点字を学ぼう」　片面書き

・Ｐ１～28 までは、上下の行の干渉を避けるために行間をやや広めの９ｍｍとしてある。
・入門期には、平らで適度な堅さの面に置かれた点字用紙で学ぶことが望ましい。必要に応じて同様の教材のシートを用意して指導する。
※資料１については、文部科学省発行「点字学習指導の手引（令和５年改訂版）」第４章　触読の学習の実際（P. 87 から P. 122）も合わせて参照いただきたい。

ページ	内　　容	指　導　上　の　留　意　点
1	両手で正しくたどりましょう(1) ⠿の線　中間に一マス空け２行　連続２行 ⠶の線　中間に一マス空け２行　連続２行	・初学の児童のための教材として、最初は児童の指の大きさにあった負担のない線からたどることとした。また、行の中間に空きマスを設けて、一息つけるような工夫をしている。 ・両手指で行の終わりまでたどる。 ・両手指で行の終わりから戻り、行替えをする。 ・両手指で行をたどり、行の半ばを過ぎたら右手だけで残りをたどる。左手は先に次の行に行き、右手が追随する。 ・両手の指先は立てずに点字の上に置き、両手の人差し指を軽く接触させてたどる。指先の腹でたどるが、押さえすぎないように注意する。 ・両手指の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
2	両手で正しくたどりましょう(2) ⠒の線　中間に一マス空け２行　連続２行 ⠶の線　中間に一マス空け２行　連続２行 ⠿の線　中間に一マス空け２行　連続２行	
3	両手で左から右までたどりましょう(1) ⠿⠿⠶⠶⠶⠶⠿⠿の形で２行２組、３行１組	・指先を立てずに指先の腹でたどる。 ・起点に両手指を正しく置き、終点までたどり、両手指で戻る。 ・起点に両手を置き、右手だけで終点までを往復する。さらに終点に両手を置き、起点までを左手だけで往復する。 ・両手指の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
4	両手で左から右までたどりましょう(2) ⠸⠶⠶⠇⠒⠒⠒⠒⠸⠶⠶⠇の形で２行２組、３行１組	
5	始まりがへこんだところを探しましょう(1) ⠸⠶⠶⠇⠒⠒⠸⠶⠶⠇の形で３行２組 １行目と２行目は、２マス下げた書き出し	・文章を読む際に不可欠な、書き出し（段落）意識のレディネス教材である。 ・点字の読みに熟練してくると行頭を指で縦に触れて段落の箇所を見つけるが、ここでは縦に触れることをねらいとせず、書き出し位置が上の行と違うということを意識できたら良い。 ・書き出し位置がどのくらいへこんでいるか（２・４・６マス）、言葉に出せるとよい。 ・声に出して数えたり、「２行目がへこんでる！」などと言葉にしたり、数える速さを友だちと競ったりなど、言葉を育てることも意識して扱ってほしい。
6	始まりがへこんだところを探しましょう(2) ⠿ の線１０行 ２、５、７、９行目は、二マス下げた書き出し	
7	始まりがへこんだところを数えましょう ⠿ の線５行１組と７行１組 １組目の２・４行目と、２組目の３・５行目は、２マス下げた書き出し ２組目の２行目は４マス下げた書き出し、	

	６行目は６マス下げた書き出し	
8	一マスあけの切れ目を探しましょう ⠿の線２行４組 空いた箇所は３回と４回、２回と５回、６回と５回、６回と６回	・一マスあけのイメージ形成のための行たどり教材である。 （一マスあけは６箇所までとする。行末は数えるべきかどうか判断が分かれるので、この教材には入れない。） ・声に出して数えたり、「ここ、あいてるよ。」などと言葉にしたり、数える速さを友だちと競ったりして、言葉を育てることも意識して扱ってほしい。
9	一マスあけの切れ目を数えましょう ⠿の線４行２組 空いた箇所は、３、４、５、５回と３、６、４、５回	
10	二マスあけの切れ目を探しましょう ⠿の線２行４組 空いた箇所は２回と３回、４回と３回、５回と６回、３回と４回	・二マスあけのイメージ形成のためを行たどり教材である。 （二マスあけは６箇所までとする。行末は数えるべきかどうか判断が分かれるので、この教材には入れない。） ・両手指の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
11	一マスあけの数を数えましょう ⠿の線４行　一マス空けと二マス空けが混ざっている。 2、1、2。　1、1、2、2、1。　1、2、1、2。1、2、1。 二マスあけの数を数えましょう ⠿の線４行　一マス空けと二マス空けが混ざっている。 1、2、2、1、1。　2、1、2。　1、2、1、1。2、2、1、2。	・一マスあけまたは二マスあけを意識化するための教材である。 ・一マスと二マスのスペースを指で正しく触知できるようにする。 ・行たどりと改行動作は、1行あたり数秒以内の速さで行うことができるようにする。そうすることによって、通過時間の差だけで一マスあけか二マスあけかを感覚的に弁別できるようになる。 ・両手指の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。 ・声に出して数えたり、「あった！」「これは二つあいているね。」などと言葉にしたり、数える速さを友だちと競ったりなど、言葉を育てることも意識して扱ってほしい。
12	⠿の数を数えましょう（1） ２、３、６、４、10、５個が一マス空けで並んだ６行 ３、４、４、８、７、５個が一マス空けで並んだ７行（３、５行目は二マス下げ）	・⠿の数を数えながら、一マスの感覚を培う教材である。 ・始まりが二マス下がった行も数え落としがないようにする。 ・⠿でない点（⠛　⠶　⠦　⠊　⠒）が混ざり合うなかで、確実に一マスを意識できるようにしていきたい。 ・⠿を探しながら行をたどるなかで、「点が少ないよ。」「よくさわってみるね。」などと、言葉を育てることも意識し、楽しみながら取り組めるようにしてほしい。 ・両手の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
13	⠿の数を数えましょう（2） ⠿に⠶　⠛　⠦　⠊　⠒が一マス空けで並んだ５行と７行 1組目は⠶　⠛、2組目は⠛　⠶　⠦　⠊　⠒が混ざり、4、6行目は書き出し二マス下げ	
14	変わり目はどこでしょう(1)	・行途中における変化の弁別のための教材であ

	⠿⠶⠿⠶⠿⠶の、二マス以上の連続線の変わり目を読み取る。 ⠶⠶で始点と終点、⠿⠿を変わり目とする３行、⠶⠶で始点と終点の４行２組	る。 ・両手指で正しく行をたどりながら、一マスの感覚（枠組み）を横の段（①④、②⑤、③⑥の点）のイメージでとらえる。 ・最初は変化のたびに⠶⠶に戻ることにしてあるが、難易度を変えて配列してある。 ・⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶であっても、指の上下の動きを排除して、常に指の腹でなめらかにたどる動きを身につけたい。 ・両手の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
15	変わり目はどこでしょう(2) ⠿⠶⠿⠶⠿⠶の、二マス以上の連続線の変わり目を読み取る。 ⠿⠿で始点と終点、⠿⠿を変わり目とする３行、⠿⠿で始点と終点の４行２組	
16	上と下のどちらでしょう(1) ⠶⠶で始点と終点　⠶と⠶の線　２行と３行 ⠿⠿で始点と終点　⠶と⠶の線　３行	・行途中における変化の弁別のための教材である。 ・比較しやすい上下から行い、それを合わせた⠶をもとに、最初と最後は⠿⠿や⠶⠶で明確にした。 ・「上、中、下」と声に出しながら行をたどるなど、興味を喚起しながら楽しんで取り組めるようにしてほしい。 ・両手の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
17	上　中　下のどれでしょう(1) ⠶⠶で始点と終点　⠶⠶⠶の線　２行と３行 ⠿⠿で始点と終点　⠶⠶⠶の線　３行	
18	上と下のどちらでしょう(2) ⠶⠶　⠿⠿で⠶⠶二マスを囲む３行 ⠶⠶　⠿⠿で⠶⠶一マスを囲む２行 ⠶　⠿に続く⠶⠶一マス２行	・一マス横段（①④と②⑤と③⑥の点）を意識化するための教材である。 ・比較しやすい上下から行い、それを合わせた⠶をもとに、最初と最後は⠿⠿や⠶⠶で明確にした。次に、⠿　⠶の後に続けて示した。 ・両側のマスも含めて一マスの感覚（イメージ）を触知できるようにする。
19	上　中　下のどれでしょう(2) ⠶⠶　⠿⠿で⠶⠶⠶二マスを囲む３行 ⠶⠶　⠿⠿で⠶⠶⠶一マスを囲む２行 ⠶　⠿に続く⠶⠶⠶一マス２行	・「上、中、下」と声に出しながら触知するなど、興味を喚起しながら楽しんで取り組めるようにしてほしい。
20	左と右のどちらでしょう(1) ⠿で囲んで⠶と⠶　３行 ⠿の後に続けて⠶と⠶　３行 ⠿で囲んで⠶と⠶　３行 ⠿の後に続けて⠶と⠶　３行	・一マス縦行（①②③と④⑤⑥の点）を意識化するための教材である。 ・比較しやすい⠶と⠶から行い、最初と最後は⠿⠿で明確にした。次に、⠿の後に続けて示した。 ・両側のマスも含めて一マスの感覚（イメージ）を触知できるようにする。 ・「右、左」と声に出しながら触知するなど、興味を喚起しながら楽しんで取り組めるようにしてほしい。
21	左と右のどちらでしょう(2) ⠿で囲んで⠶と⠶　３行 ⠿の後に続けて⠶と⠶　３行 ⠿で囲んで⠶と⠶　３行 ⠿の後に続けて⠶と⠶　３行	
22	左と右のどちらでしょう(3)	

	⠿で囲んで⠁と⠈　２行 ⠿の後に続けて⠁と⠈　２行 ⠿で囲んで⠂と⠐　２行 ⠿の後に続けて⠂と⠐　２行 ⠿で囲んで⠄と⠠　２行 ⠿の後に続けて⠄と⠠　２行	
23	同じものはどちらでしょう(1) ⠿⠄⠿　⠒⠒　⠿⠄⠿　⠿⠁⠿で提示。 ⠁⠂⠄　⠅⠃⠆の識別。 ⠿で囲んで３行２組 ⠿の後に続けて３行２組	・一マスの６点の弁別のための教材である。 ・「どちらでしょう」は、⠿で囲まれた二つから同じものをみつける。 ・「どれでしょう」は、⠿で囲まれた三つから同じものをみつける。 ・一マスの感覚（枠組み）を意識づけるために、⠿で囲んである。 ・左指を行頭の⠿で囲まれた箇所に固定し、右指で右側の二つ(三つ)を比べながら触る。 ・左右の逆転した形(鏡字)を意図的に盛り込んでいるが、初学の児童にとって左右の逆転した形（鏡字）は、とりわけ弁別が難しく時間がかかるものであるため、混乱してしまうこともある。児童の様子を十分に観察しながら、確実にできるようになった題材や線たどりの練習に戻ってもよいので、急ぐことなく進めればよい。 ・弁別しやすくするための工夫の一つとして、次のような教材も有効である。二マスを使い、一マス目の④⑤⑥の点と二マス目の①②③の点を一マスに見立てる。そうすると、通常の一マスよりも①②③の点と④⑤⑥の点の間が若干広くなる。⠗ ⠺ ⠼ ⠹ ⠏など、弁別が難しい場合は、以下のような形で提示して学習を進めるとよい。 ⠿⠸⠂⠿　⠿⠐⠇⠿　⠿⠠⠇⠿ ⠿⠈⠇⠿　⠿⠸⠁⠿ 　ただし、一マスが大きすぎるとマス全体に触れようとして上下に探る指の動きがでてしまうため点字に触れる指先が同時に一マスの枠組み全体に触れることができるように留意する。 ・確実に弁別できるようになったら、弁別の速さを意識できるようにする。 ・同じものを探す際に、「右（左）のが同じ」「まん中のだ」「右端のが同じ」「一つ目かな」「２番目は違うよ」など、言葉を表出させながら探せるようにし、言葉を一緒に育てる意識をもって指導に当たってほしい。
24	同じものはどちらでしょう(2) ⠿⠉⠿　⠒⠒　⠿⠑⠿　⠿⠉⠿で提示。 ⠉⠒⠤⠑⠡⠅⠌⠆⠢⠊の識別 ⠿で囲んで９行 ⠿の後に続けて４行	
25	同じものはどれでしょう(1) ⠿⠴⠿　⠒⠒　⠿⠴⠿　⠿⠜⠿　⠿⠼⠿ で提示。 ⠴⠜⠬⠼⠺⠊⠚⠲⠍⠏⠎⠕⠗⠖⠜⠩⠥⠧ 等のよく似た形ごとの識別 ⠿で囲んで９行 ⠿の後に続けて４行	
26	同じものはどれでしょう(2) ⠿⠦⠿　⠒⠒　⠿⠴⠿　⠿⠦⠿　⠿⠥⠿ で提示。 ⠦⠴⠧⠋⠙⠓⠙⠱⠣⠧⠑⠱⠎⠪⠗⠺⠕⠪ ⠏⠎⠖⠩⠹⠍等のよく似た形ごとの識別 ⠿で囲んで９行 ⠿の後に続けて４行	
27	違うものを探しましょう(1) ⠿⠽⠿　⠿⠽⠿　⠿⠭⠿　⠿⠽⠿で提示。	・一マスの６点の弁別のための教材である。 ・⠿で囲まれた、あるいは⠿に続く四つから違うもの一つをみつける。

	⠽⠭⠵⠮⠷⠝⠻⠫⠛⠳⠞⠛⠶⠦⠯⠝⠳等の識別 ⠿で囲んで９行 ⠿の後に続けて４行	・左右の逆転した形(鏡字)を意図的に盛り込んではあるが、初学の児童にとって左右の逆転した形（鏡字）は、とりわけ弁別が難しく時間がかかるものである。児童によっては混乱してしまうこともある。児童の様子を十分に観察しながら、確実にできるようになった題材や線たどりの練習に戻ってもよいので、急ぐことなく進めればよい。 ・弁別しやすくするための工夫の一つとして、次のような教材も有効である。二マスを使い、一マス目の④⑤⑥の点と二マス目の①②③の点を一マスに見立てる。そうすると、通常の一マスよりも①②③の点と④⑤⑥の点の間が若干広くなる。⠝　⠫　⠟　⠷　⠯など、点の数の多い字の弁別は難しいので、以下のような形で提示して学習を進めるとよい。 ⠿⠨⠃⠿　⠿⠘⠅⠿　⠿⠸⠃⠿ ⠿⠸⠆⠿　⠿⠸⠅⠿ ただし、一マスが大きすぎるとマス全体に触れようとして上下に探る指の動きがでてしまうため点字に触れる指先が同時に一マスの枠組み全体に触れることができるように留意する。 ・確実に弁別できるようになったら、弁別の速さを意識できるようにする。 ・両指で一つずつ触知しながら、ゲーム感覚で取り組めるとよい。 ・違うものを探す際に、「右のだよ、だって下に点がないよ。」「二つ目だ」「左端が違う」など、言葉を表出させながら探せるようにし、言葉を一緒に育てる意識をもって指導にあたってほしい。 **＊一マス６点を文字として認識する課題に入る前段階であるここまでを、上下の行の干渉を避けるために行間９ｍｍとしている。**
28	違うものを探しましょう(2) ⠿⠪⠿　⠿⠪⠿　⠿⠕⠿　⠿⠪⠿で提示。 ⠪⠕⠾⠾⠩⠹⠟⠷⠎⠱⠏⠸⠗⠧⠯⠿⠗等の識別 ⠿で囲んで９行 ⠿の後に続けて４行	
29	⠁ ⠿　⠭ ⠛ ⠁⠿ ⠁⠿　⠭⠛ ⠭⠛ ⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒ ⠁ ⠛ ⠅ ⠁ ⠇ ⠁⠛ ⠁⠛ ⠅⠁⠇	・点字の形と文字音を結び付ける最初の教材である。 ・読みやすさを考慮し、初めに音ごとにマスあけした言葉を提示し、次にマスあけしない言葉を提示する。 ・新しい段階に進むことを意識づけるために、葉っぱの形（児童が実際に手で触れることのできる平面的な具体物）の枠で囲んである。
30	ア行とカ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例 あか　あお　　いう　いえ うえ　うお　　えき おか　おけ かお　かき　　きく　きかい くき　くい　　けいこ こい　こえ	・各行の音と語例を示す教材である。 ・各音は⠿で囲んで掲載する。 ・清音の学習では、該当音から始まる二マスを中心とした身近な単語を選んで掲載する。 ・五十音順の言葉集めで、五十音の仕組みの意識化を図る。 ・形と音は丁寧に結びつける。
31	サ行とタ行の言葉	

	⠿で囲んで提示し、語例 さい　さか　　した　しお すし　すいか　　せき そと　そこ　　たこ　たて ちか　ちち　　つち　つき て　　てつ　　とし　とけい	
32	ナ行とハ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例 なす　なつ　　にく　にし ぬう　ぬの　　ねこ　ねつ のこす　　はな　はこ ひと　ひなた　　ふく　ふね へい　へそ　　ほね　ほし	・各行の音と語例を示す教材である。 ・各音は⠿で囲んで掲載する。 ・清音の学習では、該当音から始まる二マスを中心とした身近な単語を選んで掲載する。 ・五十音順の言葉集めにより、五十音の仕組みと意識化を図る。 ・形と音は丁寧に結びつける。
33	マ行とヤ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例 まえ　まち　　みち　みせ むし　むね　　め　　めし もも　もち　　やね　やさい ゆめ　ゆき　　よむ　よこ	
34	ラ行とワ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例 らいと　らむね　　りす　りか るす　　れつ　れい ろく　　わに　わたし めを　さます　　てを　あらう	
35	声に出して読みましょう（五十音表）	五十音表の学習
36	五十音表をたどりましょう 横に読んでみましょう あ　い　う　え　お　か　き　く　け　こ 縦に読んでみましょう あ　か　さ　た　な　は　ま　や　ら　わ 長く伸ばしてみましょう あー　かー　さー　たー　なー はー　まー　やー　らー　わー いー　きー　しー　ちー　にー ひー　みー　いー　りー　いー	・五十音の仕組みの意識化を図る。 ・形と音は丁寧に結びつける。
37	つまる音　のばす音　はねる音 ⠿で囲んで提示し、語例３語ずつ きって　まっと　らっこ くーき　かれー　のーと ほん　きりん　みかん	・これらは五十音ではないので、区別して指導する。 ・ここで五十音及び促音・撥音・長音の学習が終了する。
38	読んでみましょう （４３語） あたま　かお　みみ　はな　め　くち	・児童の実態に合わせて、文字を読む楽しみを味わえる教材を工夫する。 ・児童にとって身近な身体・学習に関するもの、

	たいこ　ふえ　かすたねっと　うた たいそー　かけあし　つなひき　すいえい さかな　にく　やさい　こめ くるま　ひこーき　ふね うみ　すな　そら　くも こあら　きつね　たぬき　らいおん まえ　うしろ　うえ　した おとーさん　おかあさん　おねえさん おにいさん　　おとーと　　いもーと みなさん　　おはよー せんせい　　さよーなら	食べ物、乗り物、動物などの名前を掲載。 ※２語文の提示。
39	濁る音の言葉 がぎぐげご　ざじずぜぞ だぢづでど　ばびぶべぼ ぱぴぷぺぽ	・各行の音、語例を示す教材である ・各音は⠿で囲んで掲載する。 ・３～４マスの身近な名詞を中心とした単語を選んで掲載する。 ・「ヂ」「ヅ」はすべて２音目の語であるが、点字初学の児童の負担に配慮し、正しい仮名遣いの習得をねらいとするものではない。
40	ガ行とザ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例２語ずつ がむ　かがみ　　ぎたー　かぎ ぐらす　ながぐつ　　げーむ　ひげ ごはん　かご ざる　かざり　　じかん　ひつじ ずきん　すず　　ぜんいん　かぜ ぞーきん　なぞなぞ	
41	ダ行とバ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例２語ずつ だんご　くだもの　　ちぢむ　はなぢ つづき　こづかい　　でんわ　うで どあ　のど ばった　そば　　びん　ゆび ぶた　ぶどー　　べんとー　なべ ぼたん　りぼん	
42	パ行の言葉 ⠿で囲んで提示し、語例２語ずつ ぱん　らっぱ　　ぴあの　てんぴつ ぷりん　こっぷ　　ぺっと　ぺんぎん ぽすと　たんぽぽ	
43	拗音　表 きゃきゅきょ　しゃしゅしょ ちゃちゅちょ　にゃにゅにょ ひゃひゅひょ　みゃみゅみょ りゃりゅりょ	・拗音、拗濁音、拗半濁音も語例を示しながら指導する。
44	拗音をつかう言葉(1)	・児童にとって身近な身体・学習に関するもの、

	⠿で囲んで提示し、語例１～２語ずつ きゃらめる　きゃべつ きゅーり　　きゅーきゅーしゃ きょーしつ　とーきょー しゃつ　でんしゃ しゅくだい　うんてんしゅ しょくじ　きょーかしょ ちゃわん　おもちゃ ちゅーしゃ　ちゅーりっぷ ちょきん　ちょこれーと にゃーにゃー　こんにゃく にゅーす　にゅーよーく にょろにょろ	食べ物、乗り物、動物などの名前を掲載しているが、墨字ではカタカナで書く外来語や擬音語も含まれている。ここでは、表音文字としての点字の音と形を結びつけることがねらいであるので、墨字で表記する際の文字の種類についてはとりあげて指導しなくてよい。
45	拗音をつかう言葉(2) ⠿で囲んで提示し、語例１～２語ずつ ひゃく　　ひゅーひゅー ひょーたん　　ひょーし みゃく　　みゅーじっく みょーじ　　りゃくず りゅっく　こーりゅー りょこー　りょーて	・児童にとって身近な身体・学習に関するもの、食べ物、乗り物、動物などの名前を掲載しているが、墨字ではカタカナで書く外来語や擬音語も含まれている。ここでは、表音文字としての点字の音と形を結びつけることがねらいであるので、墨字で表記する際の文字の種類についてはとりあげて指導しなくてよい。
46	拗濁音　拗半濁音の表	拗濁音　拗半濁音の表の学習
47	拗濁音を使う言葉 ⠿で囲んで提示し、語例１～２語ずつ ぎゃく ぎゅーにく　ぎゅーにゅー ぎょーざ　にんぎょー じゃんぐる　じゃんけん じゅーす　じゅぎょー じょーず　てんじょー ゆのみぢゃわん びゃくや　　びゅーびゅー びょーいん　　てびょーし	・児童にとって身近な身体・学習に関するもの、食べ物、乗り物、動物などを掲載しているが、墨字ではカタカナで書く外来語や擬音語も含まれている。ここでは、表音文字としての点字の音と形を結びつけることがねらいであるので、墨字で表記する際の文字の種類についてはとりあげて指導しなくてよい。
48	拗半濁音を使う言葉 ⠿で囲んで提示し、語例１～２語ずつ ぴゅーま　　ぴょんぴょん はっぴょー	
49	数字の読み方 ⠼⠁　１ねんせい　　１＿い ⠼⠃　２ばん　２かい ⠼⠉　３くみ　３とー ⠼⠙　４かくけい　４にん ⠼⠑　５びょー　　５＿えんだま ⠼⠋　６だい　６ぽん ⠼⠛　７じ　　７ふん ⠼⠓　８ひき　　８さい ⠼⠊　９まい　　９がつ	・適切な助数詞を付けて示す。 ・第１つなぎ符が必要なもの、助数詞によって読み方が異なるものも掲載したが、点字の初学である児童の実態に配慮して活用されたい。

	⠼⠁⠚さつ　　⠼⠁⠚こ	
50	文を読んでみましょう(1) 文の区切りはてん（⠰⠆） 文の終わりはまる（⠲） せんせい、おはよー　ございます。 みなさん、おはよー　ございます。 おひさま　ぽかぽか、げんきに　あるく。 ばななが　すき。 かわわ　すべすべ。 まがった　かたち。 かわを　むくと、　いい　におい。 たべると　あまい、　おいしい　ばなな。	・児童の生活経験に沿った内容の文例とした。 ・句点、読点の導入。 ・児童の感覚（触覚・聴覚・味覚・嗅覚）を活用させた文例とした。 ・「ばなながすき」などの教材は、視覚情報による表現を使っていない内容である。学年が進めば視覚的な表現も入ってはくるが、視覚を使わずに学習する出発点としてはこのような教材を使ってほしい。
51	文を読んでみましょう(2) いぬが、　いる。 なまえわ、　なにかな。 さわると、　けわ　ふさふさ。 いぬが、てを　なめる。 ぺろぺろぺろ。 あったかいね。 かぜが、　ふく。 まどを、　がたがた。 どあを、　ぎーぎー。 ほんを　めくって、　にげて　いった。	
52	文を読んでみましょう(3) はなし ことばにわ、 かぎ　「・・・」をつけます。 あさの　あいさつ、「おはよー。」 ごはんの　まえにわ、「いただきます。」 ごはんの　あとにわ、「ごちそーさま。」 でかける　ときにわ、「いってきます。」 かえった　ときにわ、「ただいま。」 よるの　あいさつ、「おやすみなさい。」 ああ、　ねむい。	・児童の生活経験に沿った内容の文例 ・第１かぎの導入。
53	声に出して何度も読みましょう(1) さといも　じゃがいも　さつまいも だいこん にんじん れんこん　いんげん えだまめ　そらまめ　らっかせい えのき　しいたけ　まつたけ　しめじ きゅーり　きうい　きゃべつ　あぼかど めろん　れもん　みかん　なつみかん かき　くり　もも　なし	・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記、基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。 ・マ行など点の数が多い字、拗半濁音など読みにくい字、左右逆転した字（鏡字）、⠍⠏⠍⠏⠍⠏などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んでいるが、初学の児童にとって、これらはとりわけ弁別が難しく時間がかかるものである。児

	いちご　りんご　ぶどー　ばなな ぱぱいや　まんごー　ぱいなっぷる さば　さけ　さんま　あじ　いわし かつお　まぐろ　ぶり　さわら わかめ　こんぶ　のり　ひじき いか　えび　たこ　かに　たべたいな	童の様子を十分に観察しながら、急ぐことなく進めればよい。 ・六つの点の確実な触読によって正確に読むことは大切であるが、声に出して読みながら、音やリズムを楽しめるように工夫した活用も期待する。
54	声に出して何度も読みましょう(2) いぬも　あるけば　ぼーに　あたる はなより　だんご ちりも　つもれば　やまと　なる ２かいから　めぐすり わらう　かどにわ　ふく　きたる えんの　したの　ちからもち ねこに　こばん むかし　むかし　ある　ところに、おじいさんと　おばあさんが　すんでおりました。　おじいさんわ　やまえしばかりに、おばあさんわ　かわえせんたくに　いきました。　ある　ひ、おばあさんが　せんたくを　していると、むこーの　ほーから　おおきなももが、どんぶらこ、どんぶらこ、　とながれて　きました。	・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記、基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。 ・マ行など点の数が多い字、拗半濁音など読みにくい字、左右逆転した字（鏡字）、⠽⠍⠽⠍⠍⠽などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んでいるが、初学の児童にとって、これらはとりわけ弁別が難しく時間がかかるものである。児童の様子を十分に観察しながら、急ぐことなく進めればよい。 ・六つの点の確実な触読により正確に読むことは大切であるが、声に出して読みながら、音やリズムを楽しめるように工夫した活用を期待する。
55	声に出して何度も読みましょう(3) うらにわにわ　２わ、にわにわ　２わ、にわとりが　いる。 なまむぎ　なまごめ　なまたまご あかまきがみ　あおまきがみ　きまきがみ となりの　きゃくわ　よく　かき　くうきゃくだ かえる　ぴょこぴょこ　みぴょこぴょこあわせて　ぴょこぴょこ　むぴょこぴょこ ぼーずが　びょーぶに　じょーずにぼーずの　えを　かいた おどろき　ももの　き　さんしょの　きけっこー　けだらけ　ねこ　はいだらけ おっと　がってん　しょーちのすけ なんか　よーか　ここのか　とおか	・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記、基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。 ・マ行など点の数が多い字、拗半濁音など読みにくい字、左右逆転した字（鏡字）、⠽⠍⠽⠍⠍⠽などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んでいるが、初学の児童にとって、これらはとりわけ弁別が難しく時間がかかるものである。児童の様子を十分に観察しながら、急ぐことなく進めればよい。 ・六つの点の確実な触読により正確に読むことは大切であるが、声に出して読みながら、音やリズムを楽しめるように工夫した活用を期待する。
56	声に出して何度も読みましょう(4) こがねむしわ、かねもちだ。 かねぐら　たてた、くら　たてた。 あめやで　みずあめ　かって　きた。 そそら　そら　そら　うさぎの　だんすたらった　らった　らった	・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記、基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。 ・マ行など点の数が多い字、拗半濁音など読みにくい字、左右逆転した字（鏡字）、⠽⠍⠽⠍⠍⠽などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んであ

	らった　らった　らったら あしで　けり　けり ぴょっこ　ぴょっこ　おどる みみに　はちまき らった　らった　らったら せり　なずな　ごぎょー　はこべら ほとけのざ　すずな　すずしろ　はるのななくさ	るが、初学の児童にとって、これらはとりわけ弁別が難しく時間がかかるものである。児童の様子を十分に観察しながら、急ぐことなく進めればよい。 ・六つの点の確実な触読によって正確に読むことは大切であるが、声に出して読みながら、音やリズムを楽しめるように工夫した活用も期待する。
57	声に出して何度も読みましょう（5） こーちょー　せんせい しょーがく　１ねんせい じりつ　かつどー ぜんこー　しゅーかい やすみ　じかん てんじ　ぶろっく ひなん　くんれん けいさん　どりる どくしょ　しゅーかん かれー　らいす おれんじ　じゅーす きつね　うどん からあげ　べんとー	・複合語の切れ続きを意識する教材である。切れ続きは、複合語内部の意味の切れ目を明確にするために行うマスあけのことである。 ・ここでは、児童の生活のなかで使用頻度の高い語例を挙げた。マスあけがあることによって意味の切れ目が分かり、読みやすくなることを実感できるようにしたい。 ・マスあけには「分かち書き」と「切れ続き」があるが、この時点では「マスあけ」という言い方でまとめて使えばよい。
58	声に出して何度も読みましょう(6) たこたこたこたこたこ　わらったこねこ いかいかいかいかいか　いってもいいかな かいかいかいかいかい　てんじでかいた まつまつまつまつ　ばすをまつよ たけたけたけたけ　あれわすれたっけ うめうめうめうめ　うなどんうめえ あわあわ　おふろで　あわだらけ わくわく　こころが　はずんでる わいわい　みんなで　でかけよう てんてんてんじは、みんなの　ともだち！	・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記、基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。 ・マ行など点の数が多い字、拗半濁音など読みにくい字、左右逆転した字（鏡字）、⠍⠏⠍⠏⠏⠍⠍⠏などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んでいるが、この時点でそれらを正確に読まなければならないということはない。 ・六つの点の確実な触読により正確に読むことは大切であるが、声に出して読みながら、音やリズムを楽しめるように工夫した活用を期待する。 ・「点字を学習する」ことから「点字で学習する」過程に向けて、児童が楽しく確実に「自分の文字としての点字」を獲得できるよう期待する。
59	よく使われる特殊音　13 種 ⠍⠏⠏⠏　シェイク　ポシェット ⠍⠏⠏⠏　ジェットキ ⠍⠏⠏⠏　チェンジ　チェリー ⠍⠏⠏⠍　ティッシュ　パーティー ⠍⠏⠏⠍　ビルディング ⠍⠏⠍⠏　モーツァルト ⠍⠏⠏⠏　コンツェルン ⠍⠏⠏⠏　カンツォーネ	「よく使われる特殊音」として平成３年内閣告示『外来語の表記』及び日本点字表記法に掲載されている「国語化の程度の高い語」13 種を掲載した。 ・具体例とともに指導するが、児童にとってなじみのない語例も少なくない。点字初学の児童それぞれの実態に鑑みて、活用されたい。

	ファイト　ファイル フィールド　トロフィー パーフェクト　フェンス フォーク デュエット　フォンデュ	

資料２　点字の表記習熟のためのドリル

➢　Ｉ－Ｉ巻末

点字練習１－１

読んで　みよー、書いて　みよー
おかあさん　おばあさん
おにいさん　おじいさん
おねえさん　ええ　ねえ
おとーさん　いもーと　おとーと

点字練習１－２

読んで　みよー、書いて　みよー
せんせい　とけい　いいえ
おおきい　おおかみ　とおい　こおり
ふーせん　おーさま　すーじ　ろーか
はしろー　はなそー　たべよー

とおくの　おおきな　こおりの　うえを、
おおきな　おおかみが　とおった。

点字練習１－３

読んで　みよー、書いて　みよー
きゃんぷ　きゅーしょく　きょーしつ
でんしゃ　しゅくだい　ちょきんばこ
じゃんけん　ぎゅーにゅー　にんぎょー　びょーいん
ぴっちゃー　こんぴゅーた　はっぴょー

せっけん　がっこー
らっぱ　こっぷ　しっぽ
びすけっと　あまがっぱ　みずでっぽー
がっかり　うっかり　こっそり　びっくり
よっと　まっと　らっこ　がっき

点字練習１－４

わかちがきに　きを　つけよー
わたしわ　１ねんせいです。
こいぬわ　かわいい。

これらの　ぶんを　つぎのよーに　つづけて　かいてわ　いけません。
わたしわ１ねんせいです。
こいぬわかわいい。

つぎの　ぶんを　ただしく　かきましょー。
えきえおとーさんをむかえにいきます。
へやのなかえはいります。

➢　Ｉ－２巻末

点字練習１－５

　読んで　みよー、書いて　みよー
かなづち　おこづかい　みかづき
ちぢむ　つづく　ちかづく　かたづける
ごはんぢゃわん　はなぢ　そこぢから
せかいじゅー　じめん　ちず　いなずま
ひとりずつ　うなずく　つまずく

点字練習１－６

　読んで　みよー、書いて　みよー
１ねん　２０にん　７さい
１０ぴき　３０ぷん　１けんや　１４か
１＿えん　５＿おくえん　３＿れんきゅー

　１かい　やすんで　５＿え　すすむ。
　３ばんの　こたえわ　２０＿らしい
　あめが　２、３にち　ふりつづいた。
　りんごが　ひとふくろに　５、６こ　はいって　いる。

点字練習１－７

　読んで　みよー、書いて　みよー
じゅーじろ　しこく　きゅーしゅー　よっかいち
いちろー　ごろー　さんぺい
しりつ　３ちゅー　２じょーどおり
４じ　２４か　４さつ

点字練習１－８

　読んで　みよー、書いて　みよー
ひとつ　ついたち
ふたつ　ふつか
みっつ　みっか
よっつ　よっか
いつつ　いつか
むっつ　むいか
ななつ　なのか
やっつ　よーか
ここのつ　ここのか
とお　とおか

➢　２－Ｉ巻末

点字練習２－１

　読んで　みよー、書いて　みよー
みんなが　して　いる。
みんなが　しって　いる。

くまさんが　いた。
くまさんが　いった。

点字練習２－２

　読んで　みよー、書いて　みよー
わたしわ　２ねんせいです。
はなわ　きれいです。
えきえ　おとーさんを　むかえに　いきます。
へやの　なかえ　はいります。

➢　**２－２巻末**

点字練習２－３

　読んで　みよー、書いて　みよー
あきこ　さん　なかむら　さま　たなか　どの
さとー　くん　こいけ　し
おねえちゃん　さかなやさん　くまさん
たぬきくん　かえるちゃん　おーじさま

みさこ　さんわ　みさちゃんと　よばれて　いる。

点字練習２－４

　読んで　みよー、書いて　みよー
まん　８さい　まる　１にち　ぜん　３かん
しんはつめい　だい３かん　ぜんにほん
ひとり　ひとり　ぽつり　ぽつり
のろのろ　ばたばた　びゅーびゅー

➢　**２－３巻末**

点字練習２－５

　読んで　みよー、書いて　みよー
べんきょー　する
うんどー　する
すきっぷ　する
のろのろ　する
せっする　あいする

ぎょーじを　けいかく　し、　じっこー　する。
けいさん　したり　めも　したり　する。
どうぶつを　あいする　きもち

点字練習２－６

　読んで　みよー、書いて　みよー
ほんを　よむ　こと
しょくじを　する　とき
ぼくの　きらいな　もの

ふくを　きた　まま　およぐ。

ぼくの　ほーが　はやい。
おさない　ころの　おもいで。

➢　２－４巻末

点字練習２－７

　読んで　みよー、書いて　みよー
じしんが　おきた。
ゆのみぢゃわんが　われた。
はなしが　つづく。
みちで　つまずいた。
いなずまが　ひかった。
へやを　かたづける。
こづつみが　とどく。

点字練習２－８

　読んで　みよー、書いて　みよー
たのしい　ことを　いう。
つまらない　ことを　いうなよ。
こー　いう　ことか。
そー　いう　ことわ　せんせいに　いえない。
どーして　しかられたか　いう。

点字練習２－９

　読んで　みよー、書いて　みよー
ウィーン　フィンガー
キャンディー　ディーゼル
フォーク　ボランティア　ティッシュ

➢　３－１巻末

点字練習３－１

　読んで　みよー、書いて　みよー
ある　あきの　ひの　ことです。
やまから　つめたい　かぜが　ふいて　きました。
あめも　ふりはじめました。
こー　いう　ばんわ　そとに　でたくわ　ありません。
でも　どー　しても　でかけなくてわ　なりません。
ああ　いやだと　おもいました。

点字練習３－２

　読んで　みよー、書いて　みよー
うちゅーわ　どー　なって　いるのか　しらべて　みたい。
おふろの　ゆかげんを　みて　みる。
ここに　たいせつな　ことが　かいて　ある。

そとわ　ゆきが　ふって　いる。
つくえの　うえを　きれいに　かたづけて　いる。
ひまわりが　きゅーに　おおきく　なる。

ともだちが　はしって　くる。

➢　３－２巻末

点字練習３－３

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
この　ほんわ、だんだん　おもしろく　なく　なった。
ねえさんの　ほおが、あかく　なった。
てんきが、すこし　よく　なった。
たいふーが　とおりすぎると、かぜが　なくなった。
まつお　ばしょーわ　たびの　とちゅーで　なくなった。

点字練習３－４

　読んで　みよー、書いて　みよー
その　ことわ　ぼくには　かんけい　ない。
それわ　ぜったいに　まちがい　ない。
きみが　おこるのも　むり　ない。
きょーわ　おくれないで　がっこーえ　いこー。
ぼくわ　もー　まよわない。

➢　３－３巻末

点字練習３－５

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
ごめん　ください。
ありがとー　ございます。
やって　いただく。
おはなし　なさる。
ていねいに　よみなさい。

点字練習３－６

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
かれ　じしんが　そー　いった。
からだ　ぜんたいを　つかう。
「よー　　といあわせ」とわ、　といあわせが　ひつよーですと　いう　いみです。
えいよー　まんてんの　しょくじを　とる。
うらしま　たろーわ、　たのしい　おはなしです。
ちょこれーと　けーきが　たべたく　なった。

➢　３－４巻末

点字練習３－７

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
けん　たいいくかんで　しあいを　おこなう。
まくら　かばーを　せんたく　する。
こーつー　じこが　おきて　いる。
ひなまつりを　おねえさんと　いわう。

みずさいばいを　はじめて　　みよー。

点字練習３－８

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
かれわ、　くるしそーな　こえを　だして　いる。
ふゆのよーに　さむい　ひが　つづいて　います。
ねこみたいな　なきごえが　きこえて　　きた。
まちがえるなんて　きみらしく　ない。
つよそーな　ちーむめいを　きめて　ほしい。

- **４－１巻末**

点字練習４－１

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
にゅーがく　しけん
てれび　どらま
おんがく　かんしょー
やすみ　じかん
らじお　たいそー

点字練習４－２

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
きょろきょろ　するな。
なくなく　あきらめる。
ところどころ　まちがって　いるよ。
やまみちを　ふーふー　いいながら　のぼる。
さむくて　がたがた　ふるえる。

- **４－２巻末**

点字練習４－３

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
むかし　むかしの　おはなしです。
とおい　とおい　くにに、　おとこのこが　すんで　いました。
なきながら　とぎれ　とぎれに、　はなしを　しました。
かいじゅーが　のっし　のっし　あるいて　いた　ころです。
ふたりわ　わかれ　わかれに　なりました。

点字練習４－４

　読んで　　みよー、書いて　　みよー
かみのけを　きる。
おんなのこが　うたう。
そのひぐらしの　せいかつ。
てのひらに　のせる。
このはが　ちる。

- **４－３巻末**

点字練習４－５

　読んで　みよー、書いて　みよー
おばけ　やしきが　こわくて　さけびつづけて　いる。
ろーかわ　すべりにくく　する　ひつよーが　あります。
やきゅー　たいかいが　めのまえに　ちかづいた。
きゅーに　なきはじめたので、　ぼくわ　びっくり　した。
きのーの　できごとを、　おもしろおかしく　はなして　いる。
この　めざましどけいわ　つかいやすい。

点字練習４－６

　読んで　みよー、書いて　みよー
かぶしきがいしゃ　かがみびらき　すいしゃごや
しゅんかしゅーとー
さっきょくしゃめい　しょーちゅーがっこー
とどーふけん　しのーこーしょー
しちょーそんちょー　かいすいよくじょー

- **４－４巻末**

点字練習４－７

　間違いを　すべて　さがして　みよー
こずつみが　きょお　とーちゃくした。
　（正：　こづつみが　きょー　とーちゃく　した。）
たなかせんせいが　おみあげに　どうなつを　くださった。
　（正：たなか　せんせいが　おみやげに　どーなつを　くださった。）
まいにち　ごちそおを　たべていた。
　（正：まいにち　ごちそーを　たべて　いた。）
おーどーりの　こうさてんを　みぎえ　まがると、　みかずきが　みえて　いた。
　（正：おおどおりの　こーさてんを　みぎえ　まがると、　みかづきが　みえて　いた。）
さかなや　さんで　かいものを　し、　こーりを　いれて　もらった。
　（正：さかなやさんで　かいものを　し、　こおりを　いれて　もらった。）

点字練習４－８

　間違いを　すべて　さがして　みよー
くま　さんが、　はしって　きた。
　（正：くまさんが、　はしって　きた。）
ねずみ　ちゃんわ、　「きゃー」　と、　おおごえを　だしています。
　（正：ねずみちゃんわ、　「きゃー」と、　おおごえを　だして　います。）
そのあとから、　さんびきの　すずめばちが　あとを　おってきました。
　（正：その　あとから、　３びきの　すずめばちが　あとを　おって　きました。）
どうぶつひろばわ、　おおさわぎになり　ました。
　（正：どーぶつ　ひろばわ、　おおさわぎに　なりました。）

➢　５－１巻末

点字練習５－１

　読んで　みよー、書いて　みよー
Ａ　こーす　　ＣＤ　ぷれーやー
ＴＶ　ばんぐみ　　びたみん　Ｃ
ＮＨＫ　ＳＯＳ　ＪＲ　ＵＦＯ
Ｂ＿がた　Ｘ＿せん　Ａ＿ぐみ
Ａ４ばん　１０ｃｍ　３ＬＤＫ

点字練習５－２

　読んで　みよー、書いて　みよー
なつめ　そーせき　ちょ
ぱぶろ　ぴかそ　が
よさの　あきこ　やく
たにかわ　しゅんたろー　さく

➢　５－２巻末

点字練習５－３

　間違いを　さがして　みよー
Ｅメールの　アドレスを　きーた。
　（正：Ｅ　メールの　アドレスを　きいた。）
Ｙ　じろわ、　みとーしが　わるい。
　（正：Ｙ＿＿じろわ、　みとおしが　わるい。）
ねん　がっ　ぴを、　ここに　きにゅーしてください。
　（正：ねんがっぴを、　ここに　きにゅー　して　ください。）
ここで　どおぞ　でんわして　ください。
　（正：ここで　どーぞ　でんわ　して　ください。）

点字練習５－４

　間違いを　さがして　みよー
かわばた　やすなりさく
　（正：かわばた　やすなり　さく）
１ろーが　ひっとを　うった。
　（正：いちろーが　ひっとを　うった。）
Ａ＿こーすは、　ひじょーに　こーきゅーな　しょくじです。
　（正：Ａ　こーすわ、　ひじょーに　こーきゅーな　しょくじです。）
やすみじかんに　たいくかんで　たくきゅーを　やった。
　（正：やすみ　じかんに　たいいくかんで　たっきゅーを　やった。）
しばらくして　ははが　もどってきた。
　（正：しばらく　して　ははが　もどって　きた。）

➢　５－３巻末

点字練習５－５

　　間違いを　　さがして　　みよー

きのお　おーさかから　かえった。

　（正：きのー　おおさかから　かえった。

ともだちが　おたんじょおかいに　まねーて　くれた。

　（正：ともだちが　おたんじょーかいに　まねいて　くれた。）

てずくり　クッキーを　もってきて　くれた。

　（正：てづくり　クッキーを　もって　きて　くれた。）

すこしづつ　たべる　よーに　する。

　（正：すこしずつ　たべるよーに　する。）

あのこは　おなじ　くらすの　おんなの　こです。

　（正：あの　こわ　おなじ　くらすの　おんなのこです。）

点字練習５－６

　間違いを　　さがして　　みよー

かれは　どう　して　ないているの　だろう。

　（正：かれわ　どーして　ないて　いるのだろー。）

かたずけもしないで　その　ままの　じょーたい　だった。

　（正：かたづけも　しないで　そのままの　じょーたいだった。）

ラアメンを　いちにんまえ　たのむ。

　（正：らーめんを　１にんまえ　たのむ。）

このほんが　１ばん　おもしろいと　おもー。

　（正：この　ほんが　いちばん　おもしろいと　おもう。）

あか　えんぴつで　いみふめいな　ことばを　かいた。

　（正：あかえんぴつで　いみ　ふめいな　ことばを　かいた。）

➢　５－４巻末

点字練習５－７

　読んで　　みよー、書いて　　みよー

ヴァイオリン　ヴィーナス

ファースト　　フィールド　　トロフィー　フェルマータ

チェリー　ウォーター　リデュース

チョコレートパフェ　ピッツァ

点字練習５－８

　次の符号の使い方を覚えよー

⠯⠯⠯⠯⠯　第１カギ（会話や、強調するときに使う）

⠯⠯⠯⠯⠯⠯⠯　第２カギ

⠯⠯⠯⠯⠯⠯⠯　ふたえカギ（本の名前をあらわすときや、第１カギの中で語を囲むときに使う）

⠯⠯⠯⠯⠯⠯⠯　第１指示符（傍点や、強調するときに使う）

⠯⠯⠯⠯⠯⠯⠯⠯⠯　第３指示符（試験問題で、傍線箇所を示すときに使う）

資料３ 大幅な差し替えを行った箇所

・２学年までは、点字表記に近い形であらわした。
・〔　〕で囲んだ資料の後の数字は学年、ハイフンの後は学年ごとの通し番号を表す。

〔資料２－１〕「かん字のひろば１」（２年上 P81）

１年生で　ならった　かん字　―　つぎの　ことばを　つかって、　文を　つくりましょー。
文の　終わりにわ、　。を　つけましょー。１年生で　ならった　かん字にわ　「・・・」を　つけて　あります。
（れい）　しまから　みえる　「ゆーひ」わ、　「あか」くて、　とても　きれいです。
「ゆーひ」　「あか」い　「やま」　「た」んぼ　「おー」さま　「もり」　「むら」
「がっこー」　「まち」　「くるま」　「はやし」　「かわ」　「かい」がら　「あお」い

〔資料２－２〕「かん字のひろば２」（２年上 P122）

１年生で　ならった　かん字　―　つぎの　ことばを　つかって、　１しゅーかんの　できごとを、　にっきを　かくよーに　かきましょー。　１年生で　ならった　かん字にわ　「・・・」を　つけて　あります。
（れい）
「げつ」よー「び」わ、　「か」だんの　「くさ」とりを　しました。　あつくて、　とても　たいへんでした。

「げつ」よー「び」　「か」だん　「くさ」とり
「か」よー「び」　かん「じ」　「ぶん」しょー
「すい」よー「び」　「あめ」
「もく」よー「び」　「みみ」　「くち」　「いと」でんわ
「きん」よー「び」　「てんき」　「はや」おき
「ど」よー「び」　「はなび」
「にち」よー「び」　「むし」とり

〔資料２－３〕「かたかなのひろば」（２年上 P135）

かたかなで　かく　ことばにわ　「・・・」を　つけて　あります。

犬が　「ゴール」を　めざして　はしって　います。
うさぎが　「スキップ」し、　さるが　「ジャンプ」　して　います。
ぶたが　「マット」で　前回りを　して　います。
くまと　ねずみが　「バトン」を　もって　「リレー」を　して　います。
ねこが　「ダンス」を　しながら　おーえん　して　います。
くまわ　「コート」で　「ドッジ　ボール」を　して　あそんで　います。
さるが　「サッカー」を　して　います。
くまが　「プール」で　およいで　います。
ぶたわ　「シャワー」を　あびて、　さるわ　「タオル」で　体を　ふいて　います。

〔資料２－４〕「かん字のひろば３」（２年上 P140）

１年生で　ならった　かん字　―　つぎの　ことばを　つかって、　しょーがっこーの　よーすを　かきましょー。
「―」や　「を」を　ただしく　つかいましょー。　１年生で　ならった　かん字にわ　「・・・」を　つけ

て　あります。
　（れい）　こーもんの　ちかくで、　「一年生」が　友だちを　まって　います。
きょーしつ　「せんせい」　「て」　「ただ」しい
ほけんしつ　「め」
おんがくしつ　「くち」　「おと」　「た」つ
「おお」きい　「ちゅー」ぐらい　「ちい」さい　「いし」
「み」つける　「あか」い　「しろ」い　「はな」
「１ねんせい」

〔資料２－５〕「かん字のひろば４」（２年下 P56）

１年生で　ならった　かん字　―　つぎの　数を　あらわす　ことばを　つかって、さんすーの　もんだいを　つくりましょー。　１年生で　ならった　かん字にわ　「・・・」を　つけて　あります。
　（れい）
「70_円」の　だいこんを　「１ぽん」　かいました。　「100_えんだま」を　だすと、　おつりわ　いくらでしょーか。
「はな」や　はちうえ　「９」はち
「はな」たば　「４」たば
べんとーや　「ひと」つ　「600_えん」　「せんえん」さつ
だいこん　「１ぽん」　「70_えん」　「100_えんだま」
ねこ　「５」ひき
「こ」ども　「８」にん
「いぬ」　「２」ひき
「こ」いぬ　「３」びき

〔資料２－６〕「かたかなで書くことば」（２年下 P84・85）

どーぶつが　みせで　しょくじを　して　います。　かたかなで　かく　ことばにわ　「・・・」を　つけて　あります。

どーぶつたちわ　「レストラン」に　います。
きりんが　「チョコレート」と　「アイス　クリーム」を　たべて　います。
「コアラ」は　「ケチャップ」が　かかった　「オムレツ」を　たべて　います。
ぞーが　「メニュー」を　みて　います。
「テーブル」の　うえに　「メロン」が　あります。
「パンダ」の　おかあさんわ　「コーヒー」を　のんで　います。
「パンダ」の　こどもたちわ　「ケーキ」を　たべて　います。
「ライオン」わ　「ナイフ」を　もって　います。　「テーブル」の　上に　「サラダ」と「ハンバーグ」が　あります。
「エプロン」を　つけた　「ゴリラ」が　「ミート　ソース　スパゲティ」を　食べて　います。

〔資料２－７〕「かん字の広場５」（２年下 P131）

１年生で　ならった　かん字　―　つぎの　ことばを　つかって　しゅごと　じゅつごの　つながりに　気を　つけて、　こーえんの　よーすを　かきましょー。　１年生で　ならった　かん字にわ　「・・・」を　つけて　あります。
（れい）　「おとこ」の「こ」わ、「たけ」うまの　「めいじん」です。

「あおぞら」　「き」の　「うえ」の　ねこ
「き」の　「した」の　「おとこ」の「こ」
「ひだり」わ　「でぐち」　「みぎ」わ　いけ
「おんな」の「こ」　かけ「あし」

とんねるの　ゆーぐに　「はい」る　「で」る
「やす」む　　「ちから」もち
おとーさんの　うでに　ぶらさがる　「こ」どもたち
「たけ」うま　　「めいじん」

〔資料３－１〕　「国語辞典を使おう」　（３年上 P38）

（国語辞典の例）

ふかい　（見出し語）
　ふか__い（漢字での書き表し方）
１．　表面または入口から、底やおくまでの距離が長い。　（例）傷が深い。
（対義語）浅い
２．経験・分量・程度などが十分なところまで達している。　（例）深い知識。
愛情が深い。　（対義語）浅い
３．色がこい。　（例）深い青色。　（対義語）浅い

（注）
（１）言葉の意味－ いくつかの意味がのっていることもあります。
（２）言葉のつかい方 － （例）として、その言葉をつかったみじかい文がのっています。
（３）漢字での書きあらわし方－ その言葉を漢字でどう書き表すかがのっています。
（４）対義語－反対の意味の言葉がのっています。

P38　下段
（注）
つめーページをめくる側につけられているもの。「あ」のところには「あ行（あ　い　う　え　お）を１字めとする言葉がのっています。
はしらーページの上のすみにあり、そのページにある、さいしょとさいごの見出し語がのっています。長い言葉は、とちゅうまでしか書かれないこともあります。

〔資料３－２〕　「国語辞典を使おう」　（３年上 P39）

「はやい」「ひろい」「ふかい」－１字目を見る。
「ふあん」「ふえる」「ふかい」－１字目が同じときは、２字目を見る。

〔資料３－３〕　「漢字の広場　２年生で習った漢字１」　（３年上 P41）

「漢字の広場（１）　二年生で習った漢字」
動物園の様子を書いたお話に出てきた言葉です。どんな動物がいますか。どんなものがありますか。動物園の様子を文に書きましょう。２年生で習った漢字には「・・・」をつけてあります。
（れい）　くじゃくが、きれいな「羽」を大きく「広」げています。

いりぐちーけんを「売」る　「買」う　「門」
あざらしー「少」ない
ぺんぎんー「多」い
くじゃくー「羽」　「広」げる
「馬」－２「頭」
きりんー「首」　「長」い　「黄色」
さるー「高」い木　「強」い　「弱」い
「牛」－「鳴」く
えんないーまちあわせの「時間」　「同」じふく　「売店」　１「万」円

〔資料３－４〕　「きちんとつたえるために」　（３年上 P48）

「コラム」　きちんとつたえるために

これまでに、言いたいことがうまく伝わらなかったことはありませんか。相手にきちんと伝えるために、落としてはいけないことは何かを考えましょう。

次の（例１）と（例２）の１～４の場面を読んで、考えてみましょう。

（例１）

┌──┐

１

赤いワンピースを着た女の子が、白い犬を散歩させています。それをちあきさんとかおりさんが見ています。

ちあき「あっ、かわいい。」

２

（女の子と犬が見えなくなってから）

ちあき「かわいかったね。」

かおり「うん。わたしもほしくなっちゃった。」

３

ちあき「でも、かおりちゃんの家には、もう犬はいるでしょ。」

かおり「え？なんのこと？」

４

ちあき「さっきの犬のことじゃないの。」

かおり「わたしは、女の子がきていた洋服のことを言ってたんだよ。」

└──┘

どうして、話が食い違ってしまったのでしょうか。

二人は、それぞれどのように言えばよかったのでしょうか。

（例２）

┌──┐

１

ひろしさんが自分の部屋で工作をしていると、台所の方からお母さんの声がしました。

「ひろし、ちょっと来て。」

２

ひろしさんは、もう少しで終わりそうだと思いながら、

「はあい、すぐいくよ。」

と答えました。

３

１０分後、「お母さん、何の用事かなあ。」と思いながら部屋を出ました。

４

台所に行くと、テーブルの上にお皿がありました。それを見たひろしさんはあせりました。

「あっ、アイスクリームがとけてる。」

└──┘

ひろしさんとお母さんは、それぞれどのように言えばよかったのでしょうか。

〔資料３－５〕　「漢字の広場　２年生で習った漢字」　（３年上 P52）

次のことばをつかってたから物をさがしに出かけた、男の子のお話を書きましょう。「そこで」「けれども」などの言葉を使ってみましょう。２年生で習った漢字には「・・・」をつけてあります。

（れい）

まなぶくんは、たから物のある場所がかかれた「地図」を見つけました。そこで、ぼうけんに「行」くことにしました。

「地図」　「家」　「行」く　１本「道」　「元」気　「方角」　「親友」　「会」う　「太」い　へび

「心細」い　立ち「止」まる　「谷」　「通」る　「弓矢」　天「才」　「当」たる　「岩」　「戸」　「丸」い　「引」く　「光」るたから　「帰」る

〔資料３－６〕　「文様」　（３年上 P55）

（１）の段落には、次のことが書かれています。
問い－「どんなことをねがう文様があるのでしょうか。」
（２）の段落には、次のことが書かれています。
答え－「元気で長生きをすることをねがう文様」

１．「問い」に書かれていることをたしかめましょう。
２．（３）（４）の段落を、「問い」の「答え」に当たるぶぶんはどこかを考えながら、音読しましょう。
３．この文章には、文章全体の「まとめ」が書かれている段落があります。どの段落でしょう。

〔資料３－７〕　「漢字の広場　２年生で習った漢字３」　（３年上 P70）

次の時を表す言葉を使って、日曜日の出来事と、家の人の今週の予定を書きましょう。２年生で習った漢字には、「･･･」をつけてあります。
（れい）日「曜」日の「午前」は、「妹」と人「形」で遊びました。

（日曜日のできごと）
日「曜」日　「朝」　「顔」　「妹」　「室内」　人「形」　「午前」　「外」　「何回」　とぶ　「午後」
ともだちが「来」る　おかし「半分」ずつ　「父」　「母」　「肉」をきる　「夜」　「思」いだす　日「記」
（今週のよてい）
「今週」　「弟」　「当番」　「毎」日　「兄」　「小刀」　「作」る　「姉」　テレビ「番組」　「楽」しみ
「東京」　「行」く

〔資料３－８〕　「こそあど言葉」　（３年上 P94）

こそあど言葉は、次のように使い分けられます。

（こそあど言葉）

「こ」－話し手に近い場合
「そ」－相手に近い場合
「あ」－どちらからも遠い場合
「ど」－はっきりしない場合

	「こ」	「そ」	「あ」	「ど」
物事	この	その	あの	どの
	これ	それ	あれ	どれ
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら	そちら	あちら	どちら
	こっち	そっち	あっち	どっち
様子	こんな	そんな	あんな	どんな
	こう	そう	ああ	どう

〔資料３－９〕　「こんな係がクラスにほしい」　（３年上 P123）

係の名前＿　元気係

目的＿　みんなを明るい気持ちにする。
仕事１＿　月曜日の朝の会で、おもしろい話をしたり、げいを見せたりする。
仕事２＿　たんじょう日の友だちをいわって、歌を歌う。
・・・

〔資料３－10〕　「ポスターを読もう」　（３年上 P124）

（ポスターのれい）

ホッと一息　本と一息　（キャッチコピー）
2018 第 72 回読書週間－10 月 27 日(土)～11 月９日（金）　（知らせたい内容）

絵の説明－ティーポットが人のように、コーヒーを飲みながらホッとした表情で本を読んでいる絵が描かれている。

（あ）のポスター

コスモス祭り―コスモス園にみんな集まれ
１０月１９日（土）・２０日（日）
会場　○○市中央公園（コスモス園、広場）
もよおし　ショー、出店、花火大会ほか
（広場ステージ・タイムテーブル）

１９日（土）…(小見出し符)

１３：００　○○中学校がっしょう部コンサート
１４：００　○○市和だいこの会　えんそう
１５：００　でんとうほぞん会　祭りばやし

２０日（日）…(小見出し符)

１０：００　コスモスくんショー
１１：００　写真コンテストひょうしょう式
☆花火大会　１９日（土）　１９：００～
☆お問い合わせ　○○市役所観光係　電話 000_00_0000

写真の説明－コスモス畑の前で笑っている男の子と女の子の写真。会場内の地図やキャラクターが描かれている。

（い）のポスター

コスモス祭り－ようこそ５０万本の世界へ
１０月１９日（土）・２０日（日）
会場　○○市中央公園（○○インターから車で約５分）
催し　ショー、出店、花火大会ほか
☆お問い合わせ　○○市役所観光係　電話 000_00_0000

写真の説明－青空の下、一面のコスモス畑の写真。会場周辺の地図が描かれている。

〔資料３－11〕　「書くことを考えるときは」　（３年上 P128）

テーマ　夏休みの思い出
→海に行った
→農作業をてつだった

夏休みの思い出
→海に行った→長いきょりを泳ぐことができた
→農作業をてつだった→やさいをとるてつだいをした
→ひまわりをそだてた→ぼくのしんちょうと同じくらいになった

〔資料３－12〕　「漢字の組み立て」　（３年上 P132）

かんむり

くさかんむり
点図　「はな」び　かい「か」
め「ぐすり」　「やく」そう

たけかんむり
点図　え「ふで」　もう「ひつ」
くさ「ぶえ」　き「てき」

あめかんむり
点図　あま「ぐも」　「うん」かい
「ゆき」ぐに　しん「せつ」

※以下同様

あし

こころ　「い」み　ちゅう「い」
「わる」もの　「あく」じ
「かん」ち　よ「かん」

かい（こがい）　「か」い　て　ばい「ばい」
「お」い　め　しょう「ぶ」

にょう

しんにょう（しんにゅう）　「とお」で　「えん」そく
「ちか」「みち」　「きん」じょ
「とお」り「みち」　「つう」がく

たれ

まだれ　「ひろ」ば　「こう」だい
「みせ」さき　しょう「てん」
しゃ「こ」　きん「こ」

かまえ

くにがまえ　「と」しょ　「ず」めん

こう「えん」　　でん「えん」
きた「ぐに」　　がい「こく」
もんがまえ　　うみ「びら」き　　「かい」し
「ま」ぢか　　き「かん」

〔資料３－13〕　「手紙を送ろう」　（３年上 P147）

（はがきや封書の宛名の書き方）

┌・・・┐
（ゆー　１９４－０００１）
東京都町田市つくし野５丁目 3－1 山田マンション 103
山下　正一　様
（ゆー　１９４－００２２）
東京都町田市森野６丁目 4－1
森田　のりこ
└・・・┘

〔資料３－14〕　「食べもののひみつを教えます」　（３年下 P52）

┌・・・┐
（れい）
材料　「米」
（おいしく食べる工夫と食品）
その形のままたく→ごはん
こなにする→白玉
・・・
└・・・┘

〔資料３－15〕　「ことわざ・故事成語」　（３年下 P58）

（五十歩百歩）

┌──┐
せんじょうから逃げ出してきた兵隊が一人いました。
兵隊１　「急いでにげないと。」
そこへ、後ろから兵隊２も逃げてきました。
兵隊２　「百歩もにげて、弱虫だぞ。」
兵隊１　「五十歩にげたあなただって、にげたことにかわりないじゃないか。」
兵隊２　「・・・。」
└──┘

（意味）　多少の違いはあるものの･･･
（孟子という人物が、王様にした･･･。）

〔資料３－16〕　「漢字の広場　２年生で習った漢字４」　（３年下 P64）

漢字の広場（４）
二年生で習った漢字－町の様子をせつめいする文を書きましょう。２年生で習った漢字には「･･･」をつけてあります。
（れい）
わたしの「家」は、町の「北」の方にあります。「家」のそばの「市場」は、いつも「活」気があります。

「北」　「家」　「市場」　「活」気　「自」動車　「東」　「古」い　「寺」
「公園」　「線路」　「南」　「広場」　「走」る　「点数」　「交番」　「西」
「新」しい　「近」所　天文「台」

〔資料３－17〕　「わたしの町のよいところ」　（３年下 P82）

（水野さんのれい）

┌・・・┐
　わたしの町
（しょうかいしたいものと理由）
ひかり公園→小さな水族館がある
じどう館→イベントがある、いろいろな人と交流できる
└・・・┘

（水野さんの組み立てメモ）

┌・・・┐
（はじめ）
しょうかいするものーじどう館
せつめいーわかば駅のすぐ近く、午前９時から午後６時まで
（なか）
しょうかいしたい理由
（１）楽しいイベント
とうげい教室のたいけん
（２）いろいろな人との交流
田中さんとの会話
（おわり）
まとめ・よびかけ
じどう館に行ったことがない人は、ぜひ行ってみてほしい。
└・・・┘

（水野さんが書いた、しょうかいする文章）

┌・・・┐
いつでも楽しいじどう館

水野　風花

わたしがしょうかいしたいのは、…
じどう館は、…
このじどう館をしょうかいしたい…
一つは、楽しい…
もう一つの理由は、…
じどう館に行ったことが…
└・・・┘

（はじめ）－第一段落　第二段落
（中）－第三～第五段落
（終わり）－第六段落

〔資料３－18〕　「四まいの絵を使って」　（３年下 P93）

（絵の説明）
（あ）麦わら帽子をかぶったサルが笑顔で座っている。
（い）１羽の鳥が麦わら帽子を運んでくる。
（う）鳥が麦わら帽子をサルの頭にのせる。
（え）サルの麦わら帽子が風に飛ばされる。

〔資料３－19〕　「漢字の広場　２年生で習った漢字５」　（３年下 P96）

学校では、どんなことをしていますか。日記をつけるように書きましょう。２年生で習った漢字には「・・・」をつけてあります。

（れい）「理科」の時間に、かん「電池」を使って、じっけんをした。

「国語」―「聞」く　発「言」　「話」し「合」い
「社会」―「知」る　「新聞」　「考」える
「算数」―「計算」　「教」える　「答」える
音「楽」―「歌声」
「図画工作」―「絵」　「画用紙」　「切」る
「理科」―「回」路　かん「電池」
「黒」板　日「直」　「読書」

〔資料３－20〕　「お気に入りの場所、教えます」　（３年下 P117）

（話すことを考えるときは）

┌・・┐
お気に入りの場所
中庭　図書館　しいく小屋
中庭→がっしょうの練習をした　気持ちがよい
気持ちがよい→木や花　しばふ
└・・┘

〔資料３－21〕　「漢字の広場　２年生で習った漢字６」　（３年下 P137）

それぞれのきせつでどんなことをしたかを書きましょう。修飾語を使って、まわりの様子もくわしく表しましょう。２年生で習った漢字には「・・・」をつけてあります。

（れい）わたしは、「春」に、「友」だちと「野原」にピクニックに出かけました。空は、すっきりと「晴」れ、あたたかな「風」がふいていました。

「春」―「晴」れ　「鳥」　「風」　「野原」　「明」るい　「昼」ごはん　「食」べる
「夏」―しろい「雲」　「海」　「船」　「魚」　「体」そう　「麦茶」　「岩」
「秋」―「遠」い　やま「里」　「汽」車　「歩」く　「米」
「冬」―「夜」空　「星」　「雪」　「毛」糸

〔資料４－１〕　「聞き取りメモのくふう」　（４年上Ｐ47）

（一場さんのメモ）

┌・・┐
中川先生　（１）　水泳
週２→　３
平およぎ　とくい
タイム　５びょう

（２）絵
えのぐ（おばあちゃん）
夏休み　けや？
└・・┘

（岸さんのメモ）

┌・・┐
（水泳）

週３回れんしゅう
平泳ぎ
──→タイムちぢめたい

（絵）
おばあちゃんからえのぐをもらう。
こうえん　　なつやすみに、けやき
└・・・┘

〔資料４－２〕　「話し方や聞き方からつたわること」　（4 年上 P48）

１．図書係がお願いをしています。聞く人の受け止め方がちがうのは、…。

図書係「図書係からのお願いです。…。」
聞く人１（それはよくないな。）
図書係「図書係からのお願いです。…。」
聞く人２（係の人が、おこっている。）

２．消防士が仕事の説明をしています。聞く人が手元ばかりを見ている場合と…。
話す人（消防士）「わたしたちの仕事は、・・・。」
聞く人１（ノートを見て、メモを取ることに集中しよう。）
聞く人２（話す人の方も見るようにしよう。）

ｐ４９
１．顔の向き
二人の友達に向かって話をしている人がいます。
友達１（話す人の方を向いて）「そう。それは、よかったね。」
友達 2（机の上の本に顔を向けたままで）「そう。それは、よかったね。」

２．間のとり方
話す人（荷物を運ぶときに）「一緒に運んでもらえるかな。」
友達１（間を置かず）「いいよ。」
友達 2（間を置いて）「いいよ。」

３．話す速さ
みんなの前で話をしている人がいます。
話す人（早口で）「あすの持ち物は、・・・。」
話す人（ゆっくりと）「あすの持ち物は、・・・。」

〔資料４－３〕　「漢字の広場（１）3 年生で習った漢字」（4 年上 P52）

次の言葉を使って、この街の住人になりきって、町やまわりの様子を紹介する文章を書きましょう。３年生で習った漢字には「　」をつけてあります。
（例）
わたしの家は「農家」です。春には、「畑」にたくさんの野菜を「植」えます。

「島」　「港」　お「宮」　「坂」道　「鉄橋」　「宿」　「放送局」　中「央」　「駅」
「県」立図書「館」　地「区」センター　「申」しこみ　「役所」　「都」合　「曲」がり道　「農」家　「畑」
「羊」　「温」室　「植」える　「湖」　「銀」行　「病院」　「医者」　「薬局」　「商」店　店「主」
「安」売り　行「列」

〔資料４－４〕　「お礼の気持ちを伝えよう」（4 年上 P69）

（手紙のあて名の書き方）

┌・・・┐

ゆー　１４６－００８２）
東京都大田区池上９丁目３－１
森山幸二様

（ゆー　１４６－００８３）
東京都大田区千鳥４丁目５－１
安田実夏

└・・┘

墨字の手紙では、封筒の表に相手の郵便番号・住所・あて名を、裏に自分の郵便番号・住所・氏名を書きます。

〔資料４－５〕　「漢字の広場（２）３年生で習った漢字」（4 年上Ｐ70）

次の言葉を使って、夏の楽しみを文章に書きましょう。主語と述語のつながりや、句読点に気を付けて、読み直しましょう。３年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）
わたしは、夏休みに、家「族」で九「州」へ「旅」行に行きます。

「泳」ぐ　「練習」　「暑」い　太「陽」　「波」　「息」つぎ　夏「祭」り　かき「氷」　「有」名人
的あて「命」中　家「族」　「持」つ　「荷物」　出「発」　「速」い　「旅」行　「予定」　九「州」
「鉄板」　「油」　「炭」　「配」る　「平等」　「注」ぐ　「全部」　「味」わう
「自由研究」　「豆」　「調」べる　「温度」　「緑」色　「葉」　「根」

〔資料４－６〕　「アンケート調査のしかた」（４年上 P98）

（アンケート用紙の例）

┌・・・┐

とい＿１　ふだん、昼休みは、…　書いて下さい。
（答え）
□

とい＿２　雨の日の昼休みは、…。
次のア。～ウ。から一つ選び、記号で答えてください。
（答え）
ア。
イ。
ウ。
・・・

└・・┘

答えを文章で書きこむもの－とい＿１
用意された答えの中から選ぶもの－とい＿２
選ぶ答えの数が決められている場合や、いくつ選んでもいい場合などがある

〔資料４－７〕「アンケート調査のしかた」（４年上 P99）

（仲間分けしてまとめる）

┌・・・┐

ボールを使って遊ぶ――ドッジボール　６人、
サッカー　５人、バスケットボール　５人

遊具を使って遊ぶ――てつぼう　４人、うんてい　３人
室内で過ごす――折り紙　４人、　読書　３人
└・・・┘

（表で伝える）

┌・・・┐
（昼休みの過ごし方）
ボールを使って遊ぶ
ドッジボール・・・・６人
サッカー・・・・・・５人
バスケットボール・・５人

遊具を使って遊ぶ
てつぼう・・・・・・４人
うんてい・・・・・・３人

室内で過ごす
折り紙・・・・・・・４人
読書・・・・・・・・３人
└・・・┘

〔資料４－８〕　「本のポップや帯を作ろう」（４年上 p107）

（ポップや帯の例）

「１本の鉛筆の向こうに」　（谷川俊太郎　文）
鉛筆がどのように作られるか知っていますか。
一つのものができあがるまでに多くの人が関わっていることが分かります。　（ポップ）

「夜のあいだに」　（テリー・ファン&エリック・ファン　作　原田勝　訳）
夜のあいだにいったい何があったのか。
町に起こるふしぎな出来事。美しい絵が物語の世界にあなたを引きこみます。　（帯）

〔資料４－９〕　「ローマ字を使いこなそう」　(4 年上 P130)

（「花」の表記について）
日本語　――　ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字（hana）
英語　――　flower

〔資料４－10〕　「漢字の広場（３）３年生で習った漢字」(4 年上 P132)

次の言葉を使って、場面や出来事を考えながら、二つの昔話を完成させましょう。「そして」「しかし」など、つなぎ言葉を使ってみましょう。３年生で習った漢字には「　」をつけてあります。
（れい）
おじいさんは、「急」いでおにぎりを「追」いかけました。しかし、おにぎりはどんどん「転」がっていきます。

おむすびころりん
「始」まり　おじいさんがおにぎりを「落」とす　「追」う　「転」がる　「急」ぐ　「進」む　「暗」い　「深」い　「酒」　「飲」む　「皿」　お「礼」をもらう　「幸福」　「終」わり

うらしまたろう
「始」まり　海「岸」　「悪」いこどもたち　かめは「悲」しい　「助」ける　こどもたちが「去」る
かめに「乗」る　竜宮城に「向」かう　「着」く　「美」しい乙姫様　玉手「箱」　「受」け「取」る
「開」ける　「終」わり

〔資料４－11〕「クラスみんなで決めるには」　(4 年下 p44)

（記録係が表で整理した例）

お礼の会で何をするか
（１．なにをするか　２．時間がかからない　３．心がこもっているか　の順に書きます。）
１．かんしゃじょうをわたす
２．まる
３．まる（全員が感謝の気持ちをひと言ずつ書く。）

１．さつまいもを食べる
２．まる
３．まる（協力して育てたものだから、心がこもっている。

１．いっしょに遊ぶ
２・まる
３．三角（楽しいけれど、感謝の気持ちは伝わりにくい。）

１．プレゼントを作る
２．三角
３．まる（一人一人が作る。）

１．歌を歌う
２．まる
３．まる（心をこめて歌う。一生けんめいに練習する。）

〔資料４－12〕　「工芸品のみりょくを伝えよう」　(4 年下 P57)

（調べたことを整理した例）

（博多織のみりょく）
伝統――長いれきしがある　けんじょう品
使いやすさ――着物の帯　ゆるみにくい　ほどきやすい　じょうぶ
美しさ――きかがくもよう　先にもようを決め、そめる
★書くこと――使いやすさ　美しさ

〔資料４－13〕　「漢字の広場（４）３年生で習った漢字」　(4 年下 P64)

次の言葉を使って、ある学校の様子を書いてみましょう。どこで、どんなことが行われていますか。そうぞうしたことも加えて、文章に書きましょう。３年生で習った漢字には「　」をつけてあります。
（例）
図書館で、女の子が、「童」話と「神」話の本をさがしています。

「神」話　「童」話　「世界」地図　図書「委員」　「使」う　「返」す　「起」立　「指」名する　「面」積
「倍」　「問題」　「横」　「鼻血」「歯」がいたい　「昭和」　「昔」　「遊」び　「感想」　「実物」

体「育館」　「仕事」　校「庭」　「笛」　「秒」　「次」　「係」　「相談」　「軽」い　「重」い

〔資料４－14〕　「言葉から連想を広げて」　（４年下 P94）

（にんじんから連想するものの例

┌・・┐
　にんじん
→赤い→はずかしいときの人の顔
→マイクみたいな形→うさぎのマイク
→土の中にうまっている→周りはしんとしている
→食べるのが苦手な人もいる→ぼくをもっと食べてほしい
└・・┘

〔資料４－15〕　「漢字の広場（５）３年生で習った漢字」　（4 年下 P98）

休日の様子です。 次の言葉を使って、どこで、どんな人が、何をしているのかを書きましょう。３年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）

二「階」では、お兄さんが、「漢」字の「勉」強をしています。

車「庫」　「屋根」　「両」親　お「湯」　「消」す　「皮」　「柱」　「身」長　二「階」
「洋服」　「整」理　「勉」強　「漢」字　道「路」　「信号」　「待」つ　お「客様」　手「帳」
「住所」　１「丁」目　「遊具」　「写真」　「美化」　「拾」う　「短」い　「寒」い　「登」る

〔資料４－16〕「つながりに気をつけよう」（4 年下 P113）

┌──┐
　１
（ロボロボからの手紙）
ふみや君へ
明日の待ち合わせの場所は……。
ロボロボ
ふみや「読みにくいのはどうしてだろう。」

　２
（次の日、9 時 20 分を過ぎている。）
ふみや（白い時計前の青いベンチのところで待っている。）
「時間を過ぎたのに来ないなあ。」

　３
ロボロボ（黒い時計前の白いベンチのところで待っている。）
「ふみや君、おそいなあ。」
└──┘

〔資料４－17〕「調べて話そう、生活調査隊」（４年下 P122）

（資料の例）

┌・・┐
　放課後をどこで過ごしているか
「室内」
自分や友達の家　13 人
ちいきの図書館や児童館　８人

「屋外」
学校の校庭　６人
公園や広場　２人
└・・・┘

〔資料４－18〕　「漢字の広場（６）３年生で習った漢字」　(4 年下 P143)

次の言葉を使いながら、１年間の出来事を、学級新聞の記事にしましょう。３年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（れい）
新学「期」になり、４年生に「進級」した。「始業式」では、校長先生のお話をしっかり聞いた。

三組新聞　最終号
新学「期」　「進級」　「始業式」　「第」５回書き初めコンクール　山田「君」　「代表」　作「品」
毛「筆」　「運動」会　「勝」つ　必「死」　「苦」しい　「負」ける　文「集」　「詩」　文「章」
学「級」会　「決定」　「反対」　「意」見　「打」つ　「球」　「投」げる　「守」る　「他」校生　交「流」

〔資料５－１〕「ノートの書き方」（５年 P24）

「ノートの書き方」
関係が分かるように整理するなど、書き方を工夫しましょう。
(1)何が、どこに書かれているかがわかるように、整理する。
(2)新しく知った言葉は、意味を書き加える。
(3)関係が分かるように、整理する。

（書き方の例）
┌・・・┐
（着目した言葉や文　――　理緒が感じていること）
頭で分かることと心がみとめることは、ちがうようなのだ。（26 ページ７行目）　――　どうしようもないことだと分かっていても、気持ちを整理することができない。
えみがうかんだ（27 ページ１行目）　――　整理できない気持ちに共感してもらったことをよろこんでいる。
うかんだばかりのえみがたちまち消える。（27 ページ４行目）　――　自分とはちがう気持ちなのだと思い、落ち込んでいる。

うかんだ－きえる
よろこんでいる－おちこんでいる

（新しく知った言葉）
えみ　――　ほほえみ
└・・・┘

〔資料５－２〕「銀色の裏地」（５年　P37）

（関係を整理する例）
┌・・・┐
理緒→あかね、希恵
あかね、希恵→理緒
お母さん→理緒　　「今日もいい天気。」
理緒→お母さん　　「おかしさがこみ上げてきた。」
理緒→高橋さん　　「なんだか話しかけにくい・・・。」
高橋さん→理緒
└・・・┘

〔資料５－３〕「図書館を使いこなそう」（５年　P40）

本は友達

図書館を使いこなそう

多くの図書館では、日本十進分類表によって…

（日本十進分類法）

０類－調べるための本（百科事典など）
１類－ものの考え方や心についての本
２類－昔のことや地域の本
３類－社会の仕組みの本
４類－自然に関わる本
５類－技術や機械の本
６類－いろいろな仕事の本
７類－芸術やスポーツの本
８類－言葉の本
９類－文学の本

（４類「自然に関わる本」の分類）

４０－自然科学
４１－数学
４２－物理学
４３－化学
４４－宇宙科学
４５－地球科学
４６－生物学
４７－植物学
４８－動物学
４９－医学

本を読んだら、記録をつけましょう。

（記録カードの例１）

記録カード

４/21

調べること－日本に野生の馬はいたのか。

分かったこと－「もともと、日本に馬は生息していなかった。およそ 1500 年前に、朝鮮半島から持ちこまれたと言われている。」（23 ページ）

出典－宮田洋次監修「馬を知る 100 の話」ひかり社 2023 年

（記録カードの例２）

記録カード

４/22

読んだ本－「ホームランを打ったことのない君に」

作者・筆者－長谷川集平

（ひとこと）－この物語を読んで、ホームランを打つことのむずかしさを初めて知った。わたしも、「ルイ」のように、あきらめないで物事に取り組みたい。

おすすめ度－５

└・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┘
「おすすめ度」には、だれかにすすめたい気持ちを、５段階程度で書きましょう。

〔資料５－４〕「漢字の成り立ち」（５年　P42～43）
（P42 下段から、次のように修正。「馬」「上」「草」を点線文字で示す。）
漢字の成り立ちには、大きく分けて、次の四つのものがあります。
１．目に見える物の形を具体的にえがいたもの。
（漢字の例）　馬・山・火・手
馬（象形文字）→馬（点線文字）

２．目に見えない事柄を、印や記号を使って表したもの。
（漢字の例）上・下・漢数字の３
⊥（象形文字）→上（点線文字）

３．漢字の意味を組み合わせたもの
（漢字の例）　鳴く・信じる・林
「とり」と「くち」→「な__く」

４．音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。

（漢字の例）　草・持つ
意味を表す部分
（草冠を点線文字）

音を表す部分
早（点線文字）

→「そう　くさ」
草（点線文字）

〔資料５－５〕「きいて、きいて、きいてみよう」（５年　P47）

（質問を考えるときは）
┌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┐
「山下さん」
→野球チームに入っている→いつから、きっかけ、大変さ、楽しさ
→走るのが速い
→放送委員
└・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┘

〔資料５－６〕「言葉の意味が分かること」（５年　P58）

（表）　「持つ」動作を表す言葉

日本語	韓国語	中国語
かつぐ	トゥルダ	カン
かかげる	トゥルダ	ジュ
のせる（手に）	トゥルダ	トゥオ
のせる（頭に）	イダ	ディン
持つ（つかんで）	トゥルダ	ナ
持つ(手にさげて)	トゥルダ	リン
持つ（両手で）	トゥルダ	デュアン
持つ(手にかけて)	トゥルダ	ティ
持つ（かかえて）	トゥルダ	ペン
かかえる（脇に）	キダ	ジア
かかえる(抱いて)	アンタ	バオ
かける(肩に)	メダ	クァ
せおう	メダ	ペイ

〔資料５－７〕「漢字の広場　４年生で習った漢字１」（５年　P70）

漢字の広場（１）

４年生で習った漢字ー 図書館の人になって、本の場所や図書館の使い方などを説明しましょう。４年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）本は、分「類」して配「置」されています。

公「共」　「案」内図　「便利」

「季節」　「最」新　百科事「典」　分「類」　配「置」　「戦争」　「伝」記

「参」考書　「英」語　「辞」書

「児」童書　区「別」

「司」書　「要望」　「借」りる　５さつ「以」内　「順」番　「説」明　「極」力　「静」か　「席」にすわる

〔資料５－８〕「みんなが使いやすいデザイン」（５年　P78～83）

（集めた情報を整理した、西村さんのノート）

センサー式じゃぐちについて

（図書館に行って分かったこと）

１．　お年よりのお話し（１）　「年を取ると、指に力が入りにくくなるから、手を差し出すだけで使えるのは、助かるよ。」

２．　お年寄りのお話し（２）　「図書館のトイレには、手すがりがついているのも、ありがたい。」

３．　だれもが、じゃぐちにさわらずに手をあらえるので、清潔。

（本を読んで分かったこと）

４．「力の弱い人や、手にけがをしている人も使うことができる。また、水を出すための動作がかんたんなので、子どもにも使いやすい。」

犬山ほのか「身近なユニバーサルデザイン」ひかり図書、2024 年、39 ページ

（インターネットで調べて分かったこと）

５．　じゃぐちをさわらずにつかうことができるので、〇〇市の公共のしせつでは、感染症の対策として取り入れられた。

１．と４．を同じまとまりにする。

３．と５．を同じまとまりにする。

２．は文章では省く。

〔資料５－９〕「同じ読み方の漢字」（５年　P84～85）

１．次の「　」をつけた言葉は、同じ読み方でもそれぞれ違う漢字を使います。
(1)　「熱い」お茶
(2)　「暑い」夏
(3)　「厚い」辞書

(1)～(3)は、いずれも・・・どんな漢字を使うのが適切かを考えましょう。

２．次の文の「　」をつけた言葉は、同じ読み方でも違う漢字を使います。
(1)　さす
　時計のはりが十二時を「さす」。
　武士がこしに刀を「さす」。
(2)　つく
　景色のよい場所に「つく」。
　くつにどろが「つく」。
(3)　はかる
　校舎から正門までのきょりを「はかる」。
　往復にかかる時間を「はかる」。

３．同じ訓の漢字を集め、それぞれの意味を調べて、文を作りましょう。

４．次の文の「　」をつけた言葉は、同じ読み方でもそれぞれ違う漢字を使います。

(1)　公「園」で、人形げきの公「演」を見た。
(2)　一週「間」前に発売された週「刊」誌。

　漢字には(1)の「エン」、(2)の「カン」のように、同じ…。

５．次の文の「　」をつけた言葉は、同じ読み方でも、違う漢字を使います。
(1)　こうじょう
　肥料つくりの技術が「こうじょう」する。
　製糸「こうじょう」を見学する。
(2)　じしん
　牛肉の品質に「じしん」がある。
　「じしん」のあやまちを謝罪する。

６．次の文を読んで、同じ読みかたをする部分を抜き出し、それぞれの言葉の意味を国語辞典で調べましょう。
(1)運動会の競技について協議する。
(2)暴風に備えて防風林を作った。
(3)新しい鉱石を発見した功績をたたえる。
(4)ヨットで世界一周するという志を果たした男性の、航海記録が公開される。

〔資料５－10〕「漢字の広場　４年生で習った漢字２」（５年　P112）

漢字の広場(2)

４年生で習った漢字－作家になったつもりで、登山家の半生を文章に書きましょう。４年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）

登山家の「氏」名は、高山のぼるといい、…県…「郡」に生まれた。

「氏」名　…「郡」　「卒」業　「働」く　「初」めて　週「末」　「参加」　自「然」　「包」まれる
「熱」中　「続」ける　目「標」　「節約」　悪天「候」　「散」々　「失敗」　「残念」　反「省」する
「特訓」　「必」死　「努」力　「仲」間　「結束」　「冷」たい雨　「茨」の道　「不」安　苦「労」
「信念」　「勇」気　「連帯」感　「良好」　「希望」　「副隊」長　「成功」　「旗」　「無」事　悲「願」
「達」する　「笑」う　「輪」になる　「祝賀」会

〔資料５－11〕「漢字の広場　４年生で習った漢字３」（５年　P131）

漢字の広場(3)

４年生で習った漢字－各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように、文章を書きましょう。４年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）

日本「各」地の「産」業について学習した。

日本「各」地　都道「府」県　「産」業　「漁」業
「億」　「兆」　「単位」　半「径」　面「積」　「底辺」　「例」題
「試験管」　「加熱」　計「量」　「固」定　「変」化　「結果」　「観察」　方「法」　「種」　「芽」
「給」食　「栄養」　「富」む　「健康」　ご「飯」　「焼」き魚　「塩」分
合「唱」　楽「器」　「覚」える　学「芸」会
号「令」　記「録」　１「周」する

〔資料５－12〕「方言と共通語」（５年　P133）

（方言分布図）

塩の味を、どう表現するか。

（図は省略）

「しょっぱい」「しょっぺー」など－北海道、東北地方、関東甲信越地方の一部

「からい」「からか」など－東海・北陸地方の一部、近畿地方の一部、中国・四国地方の一部、九州地方の日本海側の一部、沖縄県の一部

「しおからい」「しおからか」など－関東甲信越地方の一部、岐阜県の一部、近畿地方の一部、中国・四国地方の一部、九州地方の一部、沖縄県の一部

「くどい」「しおくどい」など－北陸地方の一部

「全国方言分布調査」（国立国語研究所）の結果をもとに作成。

〔資料５－13〕「よりよい学校生活のために」（５年　P140）

（書き出して整理する例）

（全校で取り組むこと）

一人一人が取り組む　――　美化委員会で呼びかけてもらい、みんなでごみを拾う。（美化委員会がすぐに取り組めない。

（クラスで取り組めること）

一人一人が取り組む　――　わたしたち一人一人が、気づいたときにごみを拾う。美化係をつくり、美化運動を行う。

そうじ当番が取り組む　――　そうじ当番が、一日に何回か、点検をする。

〔資料５－14〕「固有種が教えてくれること」（５年　P151）

（資料＿１　日本とイギリスの陸生ほ乳類）

（比べる点）

(1)　国土面積（ｋ㎡）

(2)　陸生ほ乳類の種の数（うち固有種）

(3)　１万ｋ㎡あたりの種の数（うち固有種）

	(1)	(2)	(3)
日本	約 37.8 万	107	2.83
		(48)	(1.27)
イギリス	約 24.3 万	42	1.73
		(0)	(0)

（国立科学博物館資料より）

（資料＿２　地質時代の区分）

鮮新世－約 533 万３千年前～約 258 万年前
更新世前期－約 258 万年前～約 78 万１千年前
更新世中期－約 78 万１千年前～約 12 万６千年前
更新世後期－約 12 万６千年前～約１万２千年前
完新世－約１万２千年前～現代

（資料＿４　全国のニホンカモシカほかく数）

年	(頭)
1975	0
1980	408
1985	816
1990	1156
1995	1213
2000	1190
2005	1094
2010	882
2015	668
2017	573

（環境省資料などをもとに作成）

〔資料５－15〕「自然環境を守るために」（５年　P160）

（資料＿１　部門別二酸化炭素排出量の推移）

部門別の排出量（百万トン）

年度	産業	家庭
1990	503	129
1995	489	150
2000	477	156
2005	467	171
2010	430	178
2015	429	187
2019	384	159

「2019 年度（令和元年度）の温室効果ガス排出量（確報値）について」（環境省）をもとに作成

（資料＿２　家庭から排出される二酸化炭素量の、エネルギーごとの割合）

電気	66.2％
都市ガス	14.7％
LP ガス	5.9％
灯油	13.2％

「平成 31 年度（令和元年度）家庭部門の CO_2排出実態統計調査の結果について」（環境省）をもとに作成

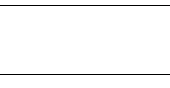
〔資料５－16〕「統計資料の読み方」（５年　P165）

表＿１　日本の図書館数と蔵書数

年	図書館数	蔵書数（千冊）
2010	3,188	393,292
2011	3,210	400,119
2012	3,234	410,224
2013	3,248	417,547
2014	3,246	423,828
2015	3,261	430,993
2016	3,280	436,961
2017	3,292	442,822
2018	3,296	449,183
2019	3,306	453,410
2020	3,316	457,245

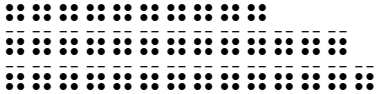
（「日本の図書館 2020」日本図書館協会をもとに作成）

グラフ＿１　本の貸出冊数



500 冊
520 冊
530 冊

グラフ＿２　本の貸出冊数



500 冊
520 冊
530 冊

表＿２　小学生が好きな本・ざっしの種類

１位	まんが	30%
２位	アニメざっし	20%
３位	絵本	16%

○○県の小学生 1200 人（各学年の男女 100 人ずつ）に調査（2024 年）

表＿３　○○市立図書館に来た小学生が好きな本・ざっしの種類

１位	まんが	25%
２位	絵本	20%
３位	ファンタジー	17%

○○市立図書館に来た小学生 100 人に調査（2020 年）

〔資料５－17〕「漢字の広場　４年生で習った漢字４」（５年　P170）

漢字の広場（４）

４年生で習った漢字－都道府県ごとに文章を考えて書き、都道府県すごろくを完成させましょう。４年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）

「宮城」県で七夕のお祭りをゆっくり見物する。１回休み。

ふりだし→北海道→青森県→岩手県→宮「城」県→秋田県→山形県→福島県→「茨城」県→「栃」木県→「群」馬県→「埼」玉県→千葉県→東京都→神「奈」川県→「新潟」県→「富」山県→石川県→福「井」県→山「梨」県→長野県→「岐阜」県→「静岡」県→「愛」知県→三重県→「滋賀」県→京都「府」→大「阪府」→「兵」庫県→「奈良」県→和歌山県→鳥取県→島根県→「岡」山県→広島県→山口県→「徳」島県→「香」川県→「愛媛」県→高知県→福「岡」県→「佐賀」県→長「崎」県→「熊」本県→大分県→宮「崎」県→「鹿児」島県→「沖縄」県→あがり

〔資料５－18〕「言葉でスケッチ」（５年　P194）

（観点にそったメモの例）

（分かること）

人物（ねこ）の様子　――　小さな子ねこ□□15センチメートルぐらい□□フワフワの毛

周りの様子　――　草に包まれている□□シロツメクサ□□明るい日差し

（想像したこと）

人物（ねこ）の様子　――　笑っている□□夢を見ている□□気持ちよさそう

周りの様子　――　緑のゆりかご□□あたたかい春□□小さなねいきの音

〔資料５－19〕「熟語の読み方」（５年　P196）

「　」で囲まれた言葉は、どんな漢字を使うでしょうか。

(1)「ふたり」の友情は、永久に変わらない。
(2)岩のすき間に、「しみず」がわいている。
(3)「かわら」で昼食を食べた。
(4)「きのう」けがしたところを消毒する。
(5)この「やおや」さんは、元日も営業している。
(6)妻といっしょに「くだもの」を買いに行く。
(7)おもちゃ売り場で、弟が「まいご」になった。
(8)虫「めがね」でアリを観察する。
(9)「きょう」の防犯教室の講師は、警察官の方だ。
(10)「はかせ」は、日々、精力的に研究している。
(11)かたづけるのが「へた」で「へや」が散らかった。

〔資料５－20〕「漢字の広場　４年生で習った漢字５」（５年　P198）

漢字の広場(5)

４年生で習った漢字－駅からおばあちゃんの家までは、どのような道順で行けるでしょうか。案内する文を書きましょう。「まず」「それから」などのつなぎ言葉を使って、案内する文を書きましょう。４年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）

「改札」を出たら、まず、百「貨」店の先の交「差」点を右「折」してください。

「改札」　「徒」歩　百「貨」店　交「差」点　「陸」上「競」技場　「博」物館　右「折」　「印刷」所　木「材」
「倉」庫　「衣料」品店　「建」物　「低」い　「民」家　両「側」　「松」の木　野「菜」畑　「街灯」
「清」流　「浅」い　「牧」場　「付」近　目「的」地

〔資料５－21〕「『子ども未来科』で何をする」（５年　P224）

（資料を作るときは）

１．　集めた情報などが分かりやすく伝わるように工夫する。

２．　出典のあるものは、出典を示す。

日本の食品ロス量（570 万トン）

事業系食品ロス――309 万トン（54%）

家庭系食品ロス――261 万トン（46%）

「食品ロス量（令和元年度推計値）」

（農林水産省ウェブサイト）をもとに作成

〔資料５－22〕「漢字の広場　４年生で習った漢字」（５年　P249）

漢字の広場（６）

４年生で習った漢字－新聞記者になって、出来事を報道する文章を書きましょう。「いつ」「どこで」「だれが（なにが）」など、必要な事がらを考えましょう。４年生で習った漢字には「　」をつけてあります。

（例）

今日の午前、国会で総理大「臣」が公「害」について語った。

「選挙」　投「票」　国会「議」員　公「害」　「課」題　「求」める　大「臣」

「未」来　自「然」　「関」心　「巣」箱　「軍」手

「機械」　「完成」　「照」明　「浴」びる　「泣」く

「城」を築く　「鹿」の群れ

絶「景」　「満」開　「梅」　「老」人　「孫」　日光「浴」

けんび「鏡」　消化「器官」　「治」す　「夫」　「協」力

「昨」夜　「飛」行「機」　「欠便」

〔資料５－23〕「点字と手話」（５年　P258）

指文字のあいうえお

（右手の手のひらを前にいる人に見せる状態から。）
あ－親指だけのばして他の４本の指はぐーの形。
い－小指だけ伸ばして他の４本の指はぐーの形。
う－人差し指と中指を立てて揃える。
え－ぐーの形から指を曲げたまま手のひらを見せた形。
お－５本の指でまるを作って親指側を自分に向けた形。
か－親指・人差し指・中指を伸ばして親指を中指の腹にそえる。
き－人差し指と小指を立て、親指と中指・薬指をつけて前に出した形。
く－５本の指を伸ばし、親指を上にして手のひらを自分の方に向けた形。
け－人差し指から小指までを伸ばし、親指を手のひらにつけた形。
こ－親指以外の指をそろえて手のひらと直角を作るように曲げた形。
さ－ぐーの形。
し－親指・人差し指・中指を伸ばし、親指を上に手のひらを自分の方に向けた形。
す－「し」をそのまま下に向けた形。
せ－「背が高い指」中指を立てる。
そ－人差し指を伸ばし、斜め下に指差す仕草をする。
た－「あ」をそのまま親指を上に向けた形。
ち－親指に小指以外の３本の指を付ける。
つ－親指・人差し指・中指を付ける。
て－手のひらを相手に見せる。
と－人差し指と中指を揃えて立て、手の甲を相手に見せた形。
な－ちょきを下に向けた形。
に－「な」をそのまま横に向ける。
ぬ－ぐーの形から人差し指を伸ばし、指先を曲げた形。
ね－手の甲を見せるように下向きにパーの形をする。
の－人差し指を立て、カタカナの「の」を書くように動かす。
は－ちょきの形で相手を指さすようにする。
ひ－人差し指を立てる。
ふ－ぐーの形から親指と人差し指を間が直角になるように伸ばし、下に向けた形。
へ－ぐーから親指と小指を立てて下に向けた形。
ほ－５本の指を揃えてやや丸みを付けて伸ばし、手のひらを自分の方に向けた形。
ま－ぐーから人差し指・中指・薬指を開いて伸ばし、下に向けた形。
み－「ま」をそのまま横に向けた形。
む－ぐーから親指と人差し指を伸ばし、親指を上に手のひらを自分に向けた形。
め－ぱーから親指と人差し指を付けて、輪を作る。
も－ぐーから親指と人差し指を上に向けて伸ばした形をした後、親指と人差し指の指先を付ける。
や－ぐーから親指と小指を伸ばした形。
ゆ－ぐーから人差し指・中指・薬指を開いて伸ばし、手のひらを自分に向けた形。
よ－親指以外の４本の指を伸ばし、指を横に向けて手のひらを自分の方に向けた形。
ら－ちょきから、中指を人差し指の上に重ねた形。
り－ちょきでカタカナの「リ」を書くように動かす。
る－ぐーから親指・人差し指・中指を立てる。
れ－ぐーから親指・人差し指を立てる。
ろ－ちょきの指先と親指を曲げた形。
わ－ちょきに薬指を足した形。
を－「お」の形を作って、手前に引く。
ん－人差し指でカタカナの「ン」を書くように動かす。

〔資料５－24〕「表にして考えよう」（５年　P293～294）

１．位置づける
観点を設けて・・・。

(1)考えを書き出す。
┌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┐
（町の観光客を増やすためには）
テレビCMを放送する。
ごみ拾いをして、町をきれいにたもつ。
ウェブサイトでせんでんする。
└・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┘

(2)それぞれ対になる観点を設け、整理する。
┌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┐
（町の観光客を増やすためには）
１．こうかが高いかこうかが低いか
２．実現しやすいか実現しにくいか

（考え）
テレビCMを放送する。　――　どちらともいえない
ごみ拾いをして、町をきれいにたもつ。　――　こうかが低く、実現しやすい
ウェブサイトでせんでんする。　――　こうかが高く、実現しにくい
└・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┘
一度整理した後で、評価を変えることもできる。

（話し合うときの言葉の例）
┌──────────────────────────────────────┐
・・・で、・・・なのは、・・・。
・・・と・・・の両方の観点で優れているのは、・・・。
・・・の点では・・・ですが、・・・の点では・・・。
└──────────────────────────────────────┘

倉田「話し合いで、どの案が・・・」

２．分ける
┌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┐
（学校図書館の現状）
(1)本について
昔話が少ない。　　やぶれている本がある。
(2)設備について
いすが少ない。　　低学年には、本だなが高い。
└・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・┘
西村「学校図書館への・・・。」

３．比べる

（植物の成長と日光）

調べること	日光に当てる	日光に当てない
葉の数	８まい	５まい
葉の大きさ	大きい	小さい
葉の色	緑色	黄色っぽい
くきの太さ	太い	細い
くきの長さ	23 ㎝	21 ㎝

山下「葉の数を比べると・・・。」

４．広げる

（小学校のよいところ）

○○小学校

→給食→

→自然→

→行事→運動会、かるた大会

塩谷「行事、自然、給食という・・・。」

〔資料６－１〕「ノートの書き方」（P24）

┌・・┐
　１．着目した言葉や文
　（律から見た周也）どんなことでも・・・進んでいくんだろう。（p○1○）
　（周也から見た自分自身）ぼくの言葉は・・・むだに打ちすぎる。（p○1○）
　２．分かることと考えたこと
　周也に対するそれぞれの見方は全然ちがう。（分かること）
　律は、思ったことを・・・自分をいやに思っている。（考えたこと）
　３．学習のまとめ
　物語を読むときには、登場人物それぞれが、出来事や、他の人物に対して…
└・・┘

〔資料６－２〕「帰り道」（P38）

　（展開にそって比べよう）

┌・・・┐
　１．律　　２．周也
　　（昼休み）
　１．「どっちが好き」という話についていけない
　２．　じりじり、軽くつっこんだつもり
　　（だまりこんで歩くとき）
　　（天気雨が降ったとき）
　　（天気雨が去った後）
　・・・
└・・・┘

〔資料６－３〕「公共図書館を活用しよう」（P43）

┌・・・┐
　　記録カード（４/22）
　１．調べること
　最初のオリンピック種目。
　２．分かったこと
　「古代オリンピックの第１回大会で行われた競技は、コースを走る『競走』だけだった。」
　３．出典
　○○博物館展示資料「オリンピック種目」2024 年４月 22 日訪問
　高本正秋監修「スポーツの歴史」　ひかり社、2023 年
└・・・┘

┌・・・┐
　　4/23
　読んだ本　－「どうぶつさいばん　ライオンのしごと」
　作者・筆者　－　竹田津実
　ひとこと　－　ヌーの母親を殺したライオンが、うったえられる。さまざまな・・・ところがよい。
　おすすめ度　５
└・・・┘
　「おすすめ度」には、だれかにすすめたい気持ちを５段階程度で書きましょう。

〔資料６－４〕「漢字の形と音・意味」（P44～45）

（同じ部分で同じ音）

次の三つの文で、「　」に「もと＿める」という漢字が使われるのはどれでしょうか。

（１）けが人は、無事に「きゅう」助された。

（２）プロ野「きゅう」のリーグ戦が始まる。

（３）我々の要「きゅう」が認められた。

「もと＿める」という漢字が使われるのは、（３）の文です。（１）には「すくう」、（２）には「たま」という漢字が使われます。

「きゅう」に使われる漢字の形に着目すると、共通する部分があります。共通する部分は、「もとめる」という漢字の形です。また、どれも「きゅう」という音です。

このように、同じ形を持つ漢字は、音も共通する場合があります。

次の各文の「　　」の漢字には形が共通する部分があります。

１．

(1)　文「か」を伝承する。

(2)　校庭の桜が開「か」した。

(3)　蒸気機関車が、「か」物列車を引っ張る。

２．

(1)　細心の注意をはらって、手紙を「せい」書する。

(2)　冷「せい」な判断で、物事に対処する。

(3)　あの「せい」年は、銀行に就職した。

(4)　「せい」天なので、臨海公園に出かける。

３．

(1)　降雨量を「そく」定する。

(2)　規「そく」に従って行動する。

(3)　箱の「そく」面に名前を書く。

（同じ部分と意味）

同じ部分を持つ漢字は、意味の上でつながりがある場合があります。

１．ぎょうにんべん　―　「行くこと」や「道」などに関係のある漢字に使われます。

(1)　「役」所と駅の間を、「徒」歩で「往復」する。

(2)　母は恩人を招「待」し、「得」意料理をふるまった。

(3)　裁判官は、法「律」にもとづいて判断する。

ぎょうにんべん　**彳**

２．にくづき―元は「肉」で、体に関係のある漢字に使われます。

「のう」　しん「ぞう」　「い」　「はい」　「ちょう」

にくづき　**月**

次の部分が表す意味を確かめましょう。

うかんむり　　てへん　　りっしんべん　　りっとう

宀　　扌　　忄　　刂

（※部首は裏点枠囲みとする）

〔資料６－５〕「漢字の広場１　５年生で習った漢字」（P52）

町のあちこちで、いろいろな出来事が起こっています。次の言葉を使い、出来事を記事にして、町の人に伝えましょう。５年生で習った漢字には「」をつけてあります。

（例）お寺では、文化「財」である「仏像」を、どのように「保護」していくかについて話しています。

花見　「桜」　俳「句」会

山「脈」　文化「財」　「仏像」　「歴史」　「保護」

畑　「耕」す　「肥」料
「復旧」工事　立ち入り「禁」止
近所の銭湯　改「築」
交通事「故」　現場「検証」　原「因」
引越　「団」地　入「居」　「停」車　「往復」
「防災」訓練　「燃」える
新郎新「婦」　「囲」む
〇〇川の「河」口　〇〇県との県「境」　水「質」　調「査」
船　「航」海　次の「寄」港地

〔資料６－６〕「主張と事例」（P65）

「心の時間」に目を向けることが、時間と付き合っていくうえで、とても重要である。（主張）
「心の時間」には、・・・という特性がある。（事例から分かること）
分かりやすい例が…（事例１）
１日の時間帯によっても…（事例２）
身の回りの環境によっても…（事例３）
さらに…（事例４）

〔資料６－７〕「天地の文」（P72）

この文章は次のような仮名遣いで書かれている。
むかいて　－　むかひて
ひだりわ　－　ひだりは
かわり　－　かはり
あわせて　－　あはせて
かぞえ　－　かぞへ
かかわらず　－　かかはらず
三月ずつ　－　三月づつ
わずか　－　わづか

〔資料６－８〕「情報と情報をつなげて伝えるとき」（P74）

(1)　Ａとその説明（定義）の関係
Ａとは、…のことだ。
(2)　Ａとその具体例の関係
…は、Ａだ。例えば…。
Ａには、…や、…がある。
(3)　複数のものと、その共通点（Ａ）という関係
このように、Ａは…だ
ここから考えられるのは、Ａだ。など

〔資料６－９〕「私と本」（P88）

（ブックトークの例）

（はじめ　－　テーマを示す）
ぼくは、「共生社会」というテーマで・・・
（中　－　本の魅力を伝える）

　１冊目は、「星空を届けたい」です。・・・
　　（おわり　－　まとめる）
　これらのような└──新たな視点をあたえてくれる本は、ぼくにとって、とても大切なものです。──┘気になる本が・・・
└・・・┘
　└──新たな視点を与えてくれる・・・とても大切なものです。──┘　－
本との関わりについて述べた部分

〔資料６－10〕「インターネットでニュースを読もう」(P105)

（トップページの例）

┌──────────────────────────────┐

東南ニュース　（サイト名）

□（検索窓）

トップ　政治　社会　経済　スポーツ　エンタメ　地域　科学　（分野名のリンク）

（トップニュース）
●●法制定へ
コンビニ各社が・・・
全国で広がる・・・
ひかり航空が・・・
円相場・・・
（写真）－前年王者が・・・

（ニュースランキング）
１．厳しい残暑続く　熱中症を防ぐために
２．俳優の・・・
３．災害時・・・

└──────────────────────────────┘

サイト名　－　閲覧しているニュースサイトの名前
検索窓　－　キーワードを文字入力すると、関連する記事の一覧が表示される。・・・調べることに使われる。
分野名のボタン　－　政治やスポーツなど・・・表示できる。
トップニュース　－　貴重なニュースなど、多くの人に読んでもらいたい、新しい記事の見出し。
ランキング　－　見ている人が多い・・・場合がある。

(P106)

（岩木さんが見つけた、ニュースサイトの記事）

┌──────────────────────────────┐

08年発見の恐竜化石、新種だった　命名「ヒカリサウルス」

２０２●年９月23日15時10分　「北西新聞」

●●理科大などの研究チームは23日、2008年に・・・
・・・推定される。
（写真）－若葉中央市で・・・

（関連記事）
若葉中央市で発見された新種の恐竜の化石発見者にきく
恐竜が生きていた時代を再現するテーマパークが開園へ
（コメント）
とく名　９月23日16時30分
若葉中央市で見つかったのだから、・・・
森田　９月23日17時00分

大発見ですね。・・・

（９月 24 日の「北西新聞」朝刊の記事）

08 年発見の恐竜化石、新種だった　命名「ヒカリサウルス」
●●理科大などの研究チームは・・・
・・・推定される。
（写真）　－　若葉中央市で・・・

〔資料６－11〕「漢字の広場２　５年生で習った漢字」（P110）

次の言葉を使い、遊園地での人々の行動を考えて、文章に書きましょう。５年生で習った漢字には「　」をつけてあります。
（例）「銅像」の前で記念写真を撮っています。

「貸」し出し　「確」かめる　「略」図　「規則」　がびょうで「留」める
「支」える　「銅像」　「仮」面　「似」顔絵　食べ物の「容」器　「比」べる
「余」る　「酸」味　「減」らす　「増」やす　順「序」　「祖」父
「断」る　「条件」　「可能」　「許可」　「混雑」　大「勢」

〔資料６－12〕「イーハトーヴの夢」（P123）

（写真説明）
賢治が農業技術を学んだ盛岡高等農林学校の本館は、現在、岩手大学農学部附属の農業教育資料館になっている。
賢治が先生になった郡立ひえぬき農学校は、後に県立花巻農学校となる。賢治は農業だけでなく、英語や数学も教えた。
羅須知人協会の建物は、県立花巻農業学校に移され、復元された。この教室で、賢治は農民のために芸術の話などをした。伝言板には、今も、賢治が近くの畑にいるかのように
したの
はたけに
おります
けんじ
の文字が残されている。
詩「雨ニモマケズ」を書いた手帳は、賢治の死後、発見された。

〔資料６－13〕「漢字の広場３　５年生で習った漢字」（P135）

次の言葉を使って、作家になったつもりで冒険の物語を書きましょう。５年生で習った漢字には「」をつけてあります。
（例）ある日、魔法使いのもとに、友達から「招」待「状」が届きました。

魔法使い　「招」待「状」　ねこを「飼」う　船が「現」れる　「移」動
「快適」　「暴」風雨　「非常」事「態」　気「象」予報士　「破損」　「墓」場
「独」りぼっち　「迷」う　「限」界　「殺」風景　「険」しい　「枝」
「夢」　「絶」望　「救」助　感「謝」　正「義」　「質」問　博「識」
ねこと「再」会　「喜」ぶ　「久」しぶり

〔資料６－14〕「熟語の成り立ち」（P136）

（漢字２字の熟語）
２字の漢字からできている・・・・次のようなものがあります。
(1)似た意味の漢字の組み合わせ　－　寒冷（さむい、つめたい）
(2)意味が対になる漢字の組み合わせ　－　縦横（たて、よこ）
(3)前の漢字が後の漢字を修飾する関係にある組み合わせ　－　山頂（やま、いただき）
(4)「…を」「…に」に当たる意味の漢字が後に来る組み合わせ　－　洗顔（あらう、かお）

１．次の熟語は(1)～(4)のどの組み合わせでしょう。漢字の意味から考えましょう。
忠誠（まごころ、まこと）
強敵（つよい、てき）
養蚕（やしなう、かいこ）
玉石（ほうせき、いし）
自己（じぶん、おのれ）
除雪（のぞく、ゆき）
苦楽（くるしい、たのしい）
仁愛（思いやり、愛する）
温泉（あたたかい、いずみ）
裏庭（うら、にわ）

〔資料６－15〕「みんなで楽しく過ごすために」（P142）

（進め方の例）

(1)一人ずつ意見を出し合う。
(2)たがいに質問し合い、・・・
(3)出た意見を・・・
(4)目的と・・・
(5)実際に・・・
(6)必要に・・・

(1)(2)(5)　－　考えを広げる話し合い
(3)(4)(6)　－　考えをまとめる話し合い

〔資料６－16〕「カンジー博士の漢字学習の秘伝」（P170）

（秘伝その１）
複雑な形や、見慣れない形の漢字は、次のような点に注意する。
線の数、点があるかないか、突き出すか突き出さないかなど

演奏が「じょうたつ」する

弟子　「『たつ』という漢字の、横の線は何本かな。」

（秘伝その２）
漢字を学習するときには、送り仮名も確認する。

生産の拡大を「こころみる」

弟子　「送り仮名は『る』かな、『みる』かな」

（秘伝その３）

漢字の読み方や、同じ読み方の漢字の使い方を身につけるには、熟語や例文を作ったり、漢字の意味を考えたりするとよい。

花「火」工場に「つとめる」人が、聖「火」ランナーを「つとめる」。

博士　「花火の『び』と聖火の『か』は同じ漢字、『つとめる』はそれぞれ違う漢字じゃ。」

１．「　」で示した言葉はどんな漢字か調べてみよう。
(1)　小学生向けの救命「こうしゅう」を受ける。
(2)　「はくぶつ」館で、絹の歴史を学ぶ。
(3)　「はつ」日の出を拝む。
(4)　鉄鋼の「ゆしゅつ」量が増える。

２．「　」で示した漢字の送り仮名を確かめましょう。
(1)　『十人十色』の意味を「たしかめる」。
(2)　死亡事故の原因を「あきらか」にする。
(3)　梅干しをガラスの容器に「うつす」。
(4)　正月は、母の郷里に「かえる」。
(5)　観衆の目が「さめる」ようなプレーだ。

３．「　」は同じ漢字です。言葉の意味を考えながら読みましょう。
(1)　郵「便」　不「便」
(2)　「家」路　作「家」　「家」賃
(3)　「行」列　孝「行」
(4)　「金」具　預「金」　黄「金」
(5)　穀「物」　「物」資
(6)　「米」俵　精「米」　「米」国

〔資料６－17〕「漢字の広場４　５年生で習った漢字」（P162）

次の言葉を使って、テレビ局で見学したことについて、家の人に分かりやすく伝える文章を書きましょう。５年生で習った漢字には「」をつけてあります。
（例）第１スタジオでは、国「際」「情勢」をテーマにした番組のさつえいをしていました。

会議室－番組「制」作　「提」案　「資」料　「複」数
第１スタジオ－ニュース　石や岩などの「鉱」物　「輸」入　「貿易」　利「益」
国「際」「情勢」　「解」説　「報」道
第２スタジオ－歌番組　「準備」　「設営」　指「示」　長さを「測」る
第３スタジオ－「武」士　「貧」しい　「演技」　「妻」　「質素」　指「導」
第４スタジオ－クイズ　正「解」　「逆」転　成「績」　「賞」品
第５スタジオ－討論　「税」金　主「張」　「述」べる　「賛」成　「政」治家

〔資料６－18〕「おすすめパンフレットを作ろう」（P188）

（テーマについて）

テーマ「おすすめの音楽」

１．前向きな気持ちになりたい人　－　勇気がわいてくる曲、応援してもらえる曲

Believe（ビリーブ）、アフリカン・シンフォニー
２．リラックスしたい人
３．感動したい人
└・・・┘

(P190)
（パンフレットの構成の例）
┌・・┐
表紙・目次　－　あなたにぴったりの曲が見つかる　「おすすめの音楽」
２ページ　－　音楽の効果
３ページ　－　１．前向きな気持ちになりたいあなたに
４ページ　－　２．リラックスしたいあなたに
５ページ　－　３．感動したいあなたに
裏表紙　－　参考
└・・・┘

(P191)
（割り付けの例）
┌・・┐
１．前向きな気持ちになりたいあなたに
おすすめの曲名(1)
すいせんする文章(1)

おすすめの曲名(2)
すいせんする文章(2)
└・・・┘

〔資料６－19〕「知ってほしい、この名言」（P198）

┌・・┐
（整理して考えた例）
１．自分にとってとても大事な言葉
２．自分にとって大事な言葉
ア．みんなにぜひ教えたい言葉
イ．みんなに教えたい言葉

何かを始めるのにいちばんいい日は、今日（ぼくのおばさん）　－　１．ア.
平和はほほえみから始まります（マザー・テレサ）　－　２．ア.
雨だれ石をうがつ（ことわざ）　－　２．ア.
どうしてもだれかを・・・勇気がわいてくる（やなせたかし）　－　１．イ.
己の欲せざる・・・（孔子）　－　２．イ.
└・・・┘

〔資料６－20〕「漢字の広場５　５年生で習った漢字」（P204）

次の言葉を使って、商店街の通りやお店の中の様子を、文章に書きましょう。会話も、想像して入れましょう。５年生で習った漢字には「」をつけてあります。
（例）「弁」当屋では、半「額」セールが始まりました。すぐに、「二つください。」と注文が入りました。

銀行－「応」対　犯「罪」「防止」　「職務」
米屋－「精」米　「貯」蔵
献血ルーム－血「液」を「採」る　血液「型」

「眼」科ー医「師」　　薬が「効」く
100 円ショップー百円「均」一　「価格」　　「豊」富　　小麦「粉」　　消「費税」
手芸店ー「布」　「綿織」物　　「編」み物　　「領」収書　　「興」味
画廊ー芸「術」　　「個性」的　　「評判」　　「版」画
「弁」当屋ー「衛」生　　消「毒」　　清「潔」　　半「額」　　「接」客
通りー夕「刊」　　「厚」着

〔資料６－21〕「日本語の特徴」（P218）

┌──┐
　英語　ー　【I eat bread every day.】（私　食べる　パン　毎日）　　※【　】は外国語引用符
　日本語　ー　私は、毎日、パンを食べる。
└──┘

〔資料６－22〕「大切にしたい言葉」（P223）

（下書きの例）
┌・・・┐
　「日々の積み重ねが自信を作る」
└――この言葉は、二〇二四年四月二十四日のひかり新聞でのインタビュー記事の中で私が読んだ、体操選手の川野あゆみさんの言葉だ。――┘
　リーハーサルでも本番でも、└――うまくいかなかった――┘。同じ場面で演じた花村さんは、まるで普段の花村さん自身…
└・・・┘
やじま　「『この言葉は…』の文は・・・」
いわき　「『うまくいかなかった』は・・・」
（助言をきいてメモをした例）
┌・・・┐
この言葉は、・・・川野あゆみさんの言葉だ。　ー　文を分ける。
うまくいかなかった　ー　くわしく書く。言葉を選ぶ。
└・・・┘

〔資料６－23〕「今、わたしは、ぼくは」（P227）

（岩木さんのスピーチメモ）
┌・・・┐
　はじめ　ー　考えていること
　なか　ー　きっかけ　感じたこと
　おわり　ー　伝えたい思い

　１．考えていること‥　将来の夢は管理栄養士
　２．きっかけ‥　管理栄養士の小島さんを特集したテレビ番組
　３．感じたこと‥　小島さんの言葉が印象に残った。・・・
　４．伝えたい思い‥　楽しい食事で・・・
└・・・┘

（P228）
（岩木さんが提示する資料　ー　「中」の部分）

資料１　話題を示した資料

きっかけ 「小島みのりさん」 マラソン高田選手専属の管理栄養士

資料２　要点をまとめた資料

2021 年７月	けがから不調に
2021 年９月	食事の改善→小島さんへ　小島さんが献立をつくる
2022 年１月	練習で成長
2023 年４月	国際大会で活躍

資料３　特に伝えたいことを示す資料

体はみんな、 「食べた物」から できている

〔資料６－24〕「漢字の広場６　５年生で習った漢字」（P247）

いつ、どんなことがあったか、そのときどんな気持ちだったか、次の言葉から想像し、文章に書きましょう。５年生で習った漢字には「」をつけてあります。
（例）六年前、校「舎」の周りの「桜」が満開の頃に、小学校に入学した。初めて背負ったランドセルは大きく感じた。

入学式－「桜」　　校「舎」
家－学習の習「慣」
クラブ活動－所「属」　　「基」本　　「得」意
「授」業－恩「師」
友達－友「情」　　「永久」
社会見学－「製造」「過程」　　「効率」がよい
修学旅行－新「幹」線
運動会－「総」力　　「団」結　　「圧」勝
新聞作り－「編」集　　「経」験　　「構」成を決める　　「紀」行文
話し合い－「責任」　　「統」一　　「報告」
卒業式－卒業「証」書　　大「志」　　学校の「講堂」　　「在」校生

〔資料６－25〕「課題解決に向けて考える」（P278）

（例）ごみ問題のためにできることを考えるとき

ごみ問題 １．ごみの量が多い。　－　むだな買い物をしない。 ２．ごみの分別ができていない。　－ ３．ごみのぽい捨てをする人がいる。　－

（例）学級会の進行を考えるとき

（進行の仕方）　－　議題を全員で共有し、意見を出してもらう。
１．意見が出る場合　→　出てきた意見を分類する
２．意見が出ない場合　→　一度、グループに分かれて、話し合う。
→　出てきた意見を分類する

(P279)
（例）よりよいインタビューをしたいとき

テレビで見た○○さんと□□さんの対話
インターネットで見た○○さんのインタビュー
友達の○○さんとの会話
（共通するところ）
きき上手な人は、いつも話し手の話に自然な相づちを打っている。
（活用する場面）
自分がインタビューするときに活用する。

（例）学級新聞があまり読まれていない状況を改善したいとき

（原因　→　修正方法）
内容が、読者の興味に合っていない。　→　クラスのみんなにアンケートを取り、・・・。
学級新聞に気づいてもらえていない。　→　学級新聞を・・・。

〔資料６－26〕「図を使って考えよう」（P311）

表にして考えよう
大きなテーマから、くわし事がらや、・・・つなげていくと、考えや情報を構造的に整理することができます。
１．つなげる
(1)事がらどうしの関係を整理する。

環境のためにできること
ごみを減らす　－　使いすてのものは使わない
節電する　－　エアコンの設定温度を見直す、こまめに電気を消す
節水する　－　おふろの残り湯でせんたくする、手をあらうとき、水を一度止める

(2)大きなテーマの後に、よりくわしい観点や事がらを書く。

環境のためにできること（大きなテーマ）
１．ごみを減らす　（観点）
(1)使いすての物は使わない　（具体）
２．節電する
(1)エアコンの・・・
(2)こまめに電気を・・・
３．節水する
(1)
(2)

（整理した考えを伝える言葉）

…は、…と…のおおきく〇つに分けられます。さらに、…についてくわしく見ていくと、…。
桜井　「整理した考えを・・・使えるね。」

２．分ける
（夏をすずしく過ごす方法）

１．電気を使う
エアコン、せんぷう機
２．電気を使わない
緑のカーテン、打ち水

矢島　「・・・」

３．比べる
（水溶液の性質）

（調べること）
様子
におい
蒸発すると残るもの

１．食塩水
様子　－　水と同じ
におい　－　なし
蒸発　－　白いもの
２．塩酸
様子　－　水と同じ
におい　－　あり
蒸発　－　なし
３．炭酸水
様子　－　あわ
におい　－　なし
蒸発　－　なし

岩木　「においを比べると・・・」

４．広げる
（日本の文化について）

日本の文化
→行事→
→芸能→
→工芸品→染め物、和紙

高橋　「日本の文化について・・・」

５．位置づける
（お楽しみ会で何をするか）

１．みんなでする
かんたん　－　さがし物ゲーム
むずかしい　－　ダンス

２．個人やグループの出し物
かんたんー
むずかしい　ー　ものまね

岩木　「みんなでするという・・・」

点字の初出一覧及び表記に関する学習事項

学年	巻	ページ	指　導　事　項	単　元　名
導入教材	点字導入編		清音・濁音・半濁音・拗音・拗濁音・拗半濁音・ 長音・促音・撥音・特殊音13種・第１カッコ・棒線・ 数符・句点・読点・第１カギ	入門教材
１年上	1−1	扉	濁音　⠘⠥　はるが　きた	はるが　きた
		8	撥音　⠼　いろんな　ものを　みつけたよ	
		9	長音　⠒　さあ　はじめよー 「さあ」の表記	
		11	促音　⠡　どっち？ 疑問符　⠡　どっち？ 第１カギ　⠦〜⠦　「１ねんせいに　なったら」 数符　⠼　１ねんせい 「おおかみ」の表記	おはなし　ききたいな
		12	拗音　⠨⠡　きょーしつ	なんて　いおーかな
		14	半濁音　⠨⠯　ぺったん 拗濁音　⠨⠹　じゅんび	かく　こと　たのしいな
		18	読点（てん）　⠲　おんがくしつに、 句点（まる）　⠲　たいこが　ありました。	こんな　もの　みつけたよ
		41	棒線　⠒⠒　さる　⠒⠒　ざる	かきと　かぎ
		42	３マスめの書き出し	ぶんを　つくろう
		46	空欄符号（二マス空欄）　⠸⠀⠀⠀⠇ それは、⠸⠀⠀⠇だからです。	わけを　はなそー
		49	長音教材　「おにいさん」「おねえさん」の表記	おばさんと　おばあさん
		52	第１つなぎ符　⠦　５０⠦おんひょー 右向き矢印　⠒⠒⠕　せなか　⠒⠒⠕　かみ	あいうえおで　あそぼー
		64	名前を書く位置	おおきく　なった
		76	第１カッコ　⠶〜⠶　⠶いずみ⠶	おおきな　かぶ
		77	項目の書き方　⠼⠁⠲　⠼⠁⠲	おおきな　かぶ
		78	「お」と「を」の表記	「わ」「を」「え」を つかおー
		95	点線　⠤⠤⠤　てぶくろ　・・・	としょかんと　なかよし
		97	「いちばん」の表記	１ねんせいの　うた
		110	のばす音の書き方（カタカナ）　スープ	かたかなを　みつけよー
		118	数字　１から１０	かずと　かんじ
		118	ひとつ、ふたつ、みっつ・・・、とお	かずと　かんじ
		122	特殊音ヴィ　⠨⠧　ジャーヴィス	この　ほん、よもー
		123	特殊音ティ　⠨⠕　スティーブン	
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	

1年下	1−2	7	「ちぢむ」の表記	くじらぐも
		34	項目の書き方　　（1）	じどう車　くらべ
		40	中点　　はなす　きく	どんな　おはなしが　できるかな
		49	第２つなぎ符（送りがなの書き方）	たぬきの　糸車
		64	ふたえカギ　～　　『　』	おかゆの　おなべ
		74	詩の書き方	かたつむりの　ゆめ
		131	特殊音ヴァ　　ヴァーニック 特殊音デュ　　デュボア	この　本、よもー
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
2年上	2−1	7	伏せ字の○　　　さんの　おかげで	どーやって　まなんでいくのかな
		31	第１小見出し符　　しる　どの　ことばに	ふきのとー
		47	重ね数字の書き方　　２，３日	たんぽぽのちえ
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	2−2	97	感嘆符　　クレヨンからの　おねがい！	お気に入りの本をしょうかいしよう
		137	歴史的仮名遣い　ゐ（　）　うゐのおくやま ゑ（　）　ゑひもせす	ことばあそびをしよー
		150	特殊音ジェ　　ジェームス 特殊音フェ　　フェルダ	本のせかいを広げよう
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
2年下	2−3	53	両向き矢印　　かぶる　　ぬぐ	にたいみのことば、 はんたいのいみのことば
		75	特殊音ディ　　キャンディー	お話のさくしゃになろう
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	2−4	156	特殊音ウィ　　ウィルバー	本のせかいを広げよう
		157	特殊音フィ　　フィリップ	
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
3年上	3−1	20	第一星印　　★「ルウ」は、	ノートの書き方
		37	日付の略記　　４/２１	図書館たんていだん
		48	波線　　１　４　の	きちんとつたえるために
		68	手紙の書き方	気持ちをこめて「きてください」
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	3−2	91	俳句の書き方	俳句を楽しもう
		94	第１指示符　～　　**こそあど言葉**	こそあど言葉
		109	特殊音ファ　　サファリ	この本読もう
		138	ローマ字の書き方	ローマ字
		138	外字符　　a	ローマ字
		136	ローマ字の拗音,長音,促音 →きゃきゅきょなどの音，のばす音，つまる音	ローマ字

		136	外国語引用符　⠦～⠴　⠦okâsan⠴□のよーに	ローマ字
		135	切れるところを示す印　⠰⠱⠛⠤⠄⠛　zen’in	ローマ字
		135	大文字符 □　⠠　⠠Kitada	ローマ字
		135	二重大文字符　⠠⠠　⠠⠠TÔKYÔ	ローマ字
		135	言葉をつなぐ印　⠠　⠠Kagawa⠠ken	ローマ字
		144	特殊音シェ　⠨⠻　ミシェル	本の世界を広げよう
		147	あて名の書き方	手紙を送ろう
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
3年下	3－3	59	第３指示符　⠹⠤⠤～⠤⠤⠆ ⠹⠤⠤親しき仲にもれいぎあり⠤⠤⠆	ことわざ・故事成語
		62	短歌の書き方	短歌を楽しもう
	3-4	巻末	点字ドリル（資料２参照）	
4年上	4－1	16	第一段落挿入符□□⠶⠶□～□⠶⠶	春のうた
		54	特殊音フォ　⠢⠬　インフォグラフィックス	思いやりのデザイン
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	4－2	107	アンドマーク　⠹⠯　テリー・ファン&エリックファン	本のポップや帯を作ろう
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
4年下	4－3	巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	4－4	158	特殊音ツェ　⠢⠛　ホッツェンブロッツ	本の世界を広げよう
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
5年	5－1	36	Ｐ１指示　⠹⠯⠼⠱⠄　⠹⠇⠼⠉	銀色の裏地
		58	特殊音トゥ　⠢⠛　トゥルダ	言葉の意味が分かること
		58	特殊音デュ　⠹⠛　デュアン	言葉の意味が分かること
		58	特殊音クァ　⠢⠡　クァ	言葉の意味が分かること
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	5－2	95	文中注記符（番号なし）　⠹⠆	モモ
		114	文中注記符（番号付き）　⠹⠼⠱⠆	たずねびと
		130	特殊音チェ　⠨⠛　チェロ	たずねびと
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	5－3	151	数字の位取り点　⠆　⠼⠉⠛⠄⠱万 km²	固有種が教えてくれること
		151	面積の単位　km²　⠹⠆⠉⠡　37.8 万⠹⠆⠉⠡	固有種が教えてくれること
		161	％記号　⠹⠯　66.2⠹⠯	自然環境を守るために
		166	伏せ字の△　⠱⠷	カンジー博士の暗号解読
		166	伏せ字の□　⠱⠻	カンジー博士の暗号解読
		166	第２カギ　⠹⠆　⠹⠆　⠹⠆ホウガク⠹⠆	カンジー博士の暗号解読
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
	5－4	268	特殊音ヴォ　⠹⠬　ヴォイテク	本の世界を広げよう
		巻末	点字ドリル（資料２参照）	
6年	6-2	87	特殊音ツァ　⠢⠔　マッツァ	私と本
		106	数字の伏せ字　⠱⠻　202⠱⠻＿ねん	インターネットでニュースを読もう
		111	特殊音ヴ　⠱⠉　イーハトーヴ	イーハトーヴの夢
	6-3	153	第２小見出し符　⠱⠆	柿山伏
		153	ト書きの書き方	柿山伏